



令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 老朽配水管布設替工事（高区系統第6工区）

金抜設計書

工事番号 2026074300

工事名 令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 老朽配水管布設替工事（高区系統第6工区）

施工場所 加東市山国地内ほか

兵庫県 加東市

内 訳				概 要	
	実施	今回変更		増減額	
設計額 (内消費税額)	円	円		円	配水管布設替工事
	(円)	(円)	(円)	(円)	管布設工 DCIP-GX φ 400 L= 11.3m
					φ 300 L= 6.2m
請負額 (内消費税額)	円	円		円	φ 250 L=461.4m
	(円)	(円)	(円)	(円)	φ 200 L= 3.3m
		施工期限	実施	令和 9年 2月26日まで	
			今回変更		

総括情報表

単価適用年月日	00-08.06.01(0)		
	今 回		前 回
工種区分 施工地域区分 前払区分 契約保証補正 週休2日補正 工事価格丸め	01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり(2) 02 補正なし 1.00 01 金銭的保証 08 完全週休2日(土日) 01 万円丸め		

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0139

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
管路							
開削工							
管路土工							
	舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	26	m				施工 第0 -0001号内訳表
	舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ; バックホウ山積0.28m3	15	m2				施工 第0 -0002号内訳表
	掘削積込工 ; バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	21	m3				施工 第0 -0004号内訳表
	掘削 土砂 現場制約あり	3	m3				施工 第0 -0005号内訳表
	埋戻工(埋戻し材->再生切込碎石) ; バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	19	m3				施工 第0 -0006号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
AS殻運搬・処分						
	1		m3			施工 第0 -0008号内訳表
土砂運搬・処分						
	24		m3			施工 第0 -0012号内訳表
アスファルト舗装工（人力） 密粒度アスコン[再] (13) t=50mm 砂散布なし プライムコート	1		m2			施工 第0 -0015号内訳表
アスファルト舗装工（人力） 密粒度アスコン[再] (13) t=50mm 砂散布なし タックコート	14		m2			施工 第0 -0018号内訳表
アスファルト舗装工（人力） 粗粒度アスコン[再] (20) t=50mm 砂散布なし タックコート	14		m2			施工 第0 -0019号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 瀝青安定処理材(再生材) TOP25 t=100mm プライムコート	14		m2			施工 第0 -0020号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚15cm	1		m2			施工 第0 -0021号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	14		m2			施工 第0 -0023号内訳表
カッター汚泥運搬・処分 2tDT L=15.4km W=1.91t	1		式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0004/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土留工						
土留材質料 (DCIP φ400)	1		式			代価 第0001号内訳表
軽量鋼矢板工 (両側分) (たて込み・引抜き) 掘削深2.0m以下	7.1		m			施工 第0 -0024号内訳表
軽量鋼矢板工 (両側分) (たて込み・引抜き) 掘削深2.5m以下	10.1		m			施工 第0 -0027号内訳表
支保工 (軽量金属) 設置・撤去 段数1段 掘削深2.0m以下	17.2		m			施工 第0 -0028号内訳表
管布設工 (DCIP φ400)						
管材費 (DCIP φ400)	1		式			代価 第0002号内訳表
その他材料費 (DCIP φ400)	1		式			代価 第0003号内訳表
铸铁管吊込み据付 (機械力) 呼び径 400mm	10.3		m			施工 第0 -0029号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0005/0139

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄管切断・溝切り加工(専用工具) 2工程 呼び径400mm、GX形継手	3	口			施工 第0 -0030号内訳表
鋳鉄管切断・溝切り加工(専用工具) 呼び径400mm、GX形継手	1	口			施工 第0 -0031号内訳表
GX継手挿口加工 (呼び径 400mm) タッピンねじ式	3	口			施工 第0 -0032号内訳表
GX継手接合(呼び径 400mm) 直管	1	口			施工 第0 -0033号内訳表
GX継手接合(呼び径 400mm) 異形管	11	口			施工 第0 -0034号内訳表
GX継手接合(呼び径 300mm) 異形管	1	口			施工 第0 -0035号内訳表
メカニカル継手 接合(呼び径 400mm) 継手：K形 特殊押輪補正あり	1	口			施工 第0 -0036号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 400mm) J WWA 7.5K	2	口			施工 第0 -0037号内訳表
不断水連絡工 φ400×400 DIP用 F型	1	箇所			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0006/0139

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 400mm	2	箇所			施工 第0 -0038号内訳表
仕切弁室設置工 円形2号 d=1.4m	2	箇所			施工 第0 -0039号内訳表
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 400mm)	10.3	m			施工 第0 -0046号内訳表
管明示シート工	10.3	m			施工 第0 -0047号内訳表
管明示テープ工(鋳鉄管布設工) 呼び径400mm×6000mm	10.3	m			施工 第0 -0048号内訳表
管路土工(DCIP φ300)					
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	12	m			施工 第0 -0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ;バックホウ山積0.28m3	4	m2			施工 第0 -0002号内訳表
掘削積込工 ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	4	m3			施工 第0 -0004号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0007/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻工（埋戻し材→再生切込碎石） ；バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	3	m3				施工 第0 -0006号内訳表
AS殻運搬・処分	0.4	m3				施工 第0 -0008号内訳表
土砂運搬・処分	4	m3				施工 第0 -0012号内訳表
アスファルト舗装工（人力） 密粒度アスコン[再] (13) t=50mm 砂散布なし タックコート	4	m2				施工 第0 -0018号内訳表
アスファルト舗装工（人力） 粗粒度アスコン[再] (20) t=50mm 砂散布なし タックコート	4	m2				施工 第0 -0019号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 瀝青安定処理材(再生材) TOP25 t=100mm プライムコート	4	m2				施工 第0 -0020号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	4	m2				施工 第0 -0023号内訳表
管布設工 (DCIP φ300)						
管材費 (DCIP φ300)	1	式				代価 第0004号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0008/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
その他材料費 (DCIP φ300)						
	1		式			代価 第0005号内訳表
鋳鉄管吊込み据付 (機械力) 呼び径 300mm						
	6.2		m			施工 第0 -0049号内訳表
鋳鉄管 (新設管) 切断工 (エンジンカッター) ダクタイル鋳鉄管 呼び径300mm						
	1		口			施工 第0 -0051号内訳表
G X継手接合 (呼び径 300mm) 直管						
	1		口			施工 第0 -0052号内訳表
G X継手接合 (呼び径 300mm) G-Linkの接合						
	2		口			施工 第0 -0053号内訳表
G X継手接合 (呼び径 250mm) 異形管						
	1		口			施工 第0 -0054号内訳表
ポリエチレンスリーブ被覆 (呼び径 300mm)						
	6.2		m			施工 第0 -0055号内訳表
管明示シート工						
	6.2		m			施工 第0 -0047号内訳表
管明示テープ工 (鋳鉄管布設工) 呼び径300mm×6000mm						
	6.2		m			施工 第0 -0056号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0009/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
メカニカル継手 取外し(呼び径 300mm) 継手：K形 特殊押輪補正あり 既設管路部	1		口			施工 第0 -0057号内訳表
管路土工 (DCIP φ250)						
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	1,110		m			施工 第0 -0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ;バックホウ山積0.28m3	378		m2			施工 第0 -0002号内訳表
掘削積込工 ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	400		m3			施工 第0 -0004号内訳表
掘削 土砂 現場制約あり	3		m3			施工 第0 -0005号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→再生切込碎石) ;バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	310		m3			施工 第0 -0006号内訳表
AS殻運搬・処分	32		m3			施工 第0 -0008号内訳表
土砂運搬・処分	400		m3			施工 第0 -0012号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0010/0139

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト舗装工（人力） 密粒度アスコン[再]（13） t=50mm 砂散布なし プライムコート	139	m2			施工 第0 -0015号内訳表
アスファルト舗装工（人力） 密粒度アスコン[再]（13） t=50mm 砂散布なし タックコート	239	m2			施工 第0 -0018号内訳表
アスファルト舗装工（人力） 粗粒度アスコン[再]（20） t=50mm 砂散布なし タックコート	239	m2			施工 第0 -0019号内訳表
上層路盤（車道・路肩部） 瀝青安定処理材（再生材） TOP25 t = 100mm プライムコート	239	m2			施工 第0 -0020号内訳表
路盤工（粒調碎石） 上層路盤 施工幅：1.8m 以上 仕上り厚15cm	139	m2			施工 第0 -0058号内訳表
路盤工（粒調碎石） 上層路盤 施工幅：1.8m 以上 仕上り厚10cm	239	m2			施工 第0 -0060号内訳表
管布設工（DCIP φ250）					
管材費（DCIP φ250）	1	式			代価 第0006号内訳表
その他材料費（DCIP φ250）	1	式			代価 第0007号内訳表

頁0-0011/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄管吊込み据付（機械力） 呼び径 250mm						
	461.4	m				施工 第0 -0061号内訳表
鋳鉄管（新設管）切断工（エンジンカッター） ダクタイル鋳鉄管 呼び径250mm						
	12	口				施工 第0 -0062号内訳表
G X継手接合（呼び径 250mm） 直管						
	91	口				施工 第0 -0063号内訳表
G X継手接合（呼び径 250mm） G-Linkの接合						
	15	口				施工 第0 -0064号内訳表
G X継手接合（呼び径 250mm） 異形管						
	15	口				施工 第0 -0054号内訳表
G X継手接合（呼び径 200mm） 異形管						
	1	口				施工 第0 -0065号内訳表
メカニカル継手 接合（呼び径 250mm） 継手：K形 特殊押輪補正あり						
	3	口				施工 第0 -0066号内訳表
フランジ継手 接合（呼び径 75(80)mm） J WWA 7.5K						
	2	口				施工 第0 -0067号内訳表
鋳鉄製仕切弁（機械力）設置 縦型仕切弁 呼び径 250mm						
	1	箇所				施工 第0 -0068号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0012/0139

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁室設置工 円形2号 d=0.8m	1	箇所			施工 第0 -0069号内訳表
空気弁 設置 呼び径 13~25mm 人力施工 カムレバーロック式	1	箇所			施工 第0 -0071号内訳表
空気弁室設置工 円形3号 d=0.8m	1	箇所			施工 第0 -0072号内訳表
ホリエチレンスリーブ被覆(呼び径 250mm)	461.4	m			施工 第0 -0078号内訳表
管明示シート工	461.4	m			施工 第0 -0047号内訳表
管明示テープ工(鋳鉄管布設工) 呼び径250mm×5000mm	461.4	m			施工 第0 -0079号内訳表
鋳鉄管吊込み撤去(機械力) 呼び径 250mm	89.2	m			施工 第0 -0080号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) 鋳鉄管 呼び径250mm	17	口			施工 第0 -0081号内訳表
管路土工(DCIP φ200)					

工 事 費 内 訳 書

頁0-0013/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	9	m				施工 第0 -0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ; バック杓山積0.28m3	3	m2				施工 第0 -0002号内訳表
掘削積込工 ; バック杓 山積0.28m3(平積0.2m3)	3	m3				施工 第0 -0004号内訳表
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石) ; バック杓 山積0.28m3(平積0.2m3)	3	m3				施工 第0 -0006号内訳表
AS殻運搬・処分	0.1	m3				施工 第0 -0008号内訳表
土砂運搬・処分	3	m3				施工 第0 -0012号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコン[再](13) t=50mm 砂散布なし フライムコート	3	m2				施工 第0 -0015号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m以上 仕上り厚15cm	3	m2				施工 第0 -0058号内訳表
管布設工(DCIP φ200)						

工 事 費 内 訳 書

頁0-0014/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管材費 (DCIP φ200)						
	1		式			代価 第0008号内訳表
その他材料費 (DCIP φ200)						
	1		式			代価 第0009号内訳表
铸铁管吊込み据付 (機械力) 呼び径 200mm						
	3.6		m			施工 第0 -0082号内訳表
铸铁管 (新設管) 切断工 (エンジンカッター) ダクタイル铸铁管 呼び径200mm						
	2		口			施工 第0 -0083号内訳表
G X継手接合 (呼び径 200mm) 直管						
	1		口			施工 第0 -0084号内訳表
G X継手接合 (呼び径 200mm) G-Linkの接合						
	1		口			施工 第0 -0085号内訳表
G X継手接合 (呼び径 200mm) 異形管						
	1		口			施工 第0 -0065号内訳表
メカニカル継手 接合 (呼び径 250mm) 継手：K形 特殊押輪補正あり						
	1		口			施工 第0 -0066号内訳表
メカニカル継手 接合 (呼び径 200mm) 継手：K形 特殊押輪補正あり						
	2		口			施工 第0 -0086号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0015/0139

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
不断水連絡工(φ250mm×φ200mm)					
	1	箇所			施工 第0 -0087号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 200mm					
	1	箇所			施工 第0 -0088号内訳表
不断水仕切弁設置工 φ250					
	1	箇所			
仕切弁室設置工 円形2号 d=0.8m					
	1	箇所			施工 第0 -0069号内訳表
仕切弁室設置工 円形2号 d=1.2m					
	2	箇所			施工 第0 -0089号内訳表
ホリェレンスリーブ被覆(呼び径 200mm)					
	3.6	m			施工 第0 -0090号内訳表
管明示シート工					
	3.6	m			施工 第0 -0047号内訳表
管明示テープ工(鋳鉄管布設工) 呼び径200mm×5000mm					
	3.6	m			施工 第0 -0091号内訳表
管路土工(HIVP・PEφ50) ドレン					

工 事 費 内 訳 書

頁0-0016/0139

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	29	m			施工 第0 -0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下 ; バックホウ山積0.28m3	9	m2			施工 第0 -0002号内訳表
掘削積込工 ; バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	7	m3			施工 第0 -0004号内訳表
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石) ; バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	3	m3			施工 第0 -0006号内訳表
埋戻工(埋戻し材→スクリーニングス) ; バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)	2	m3			施工 第0 -0092号内訳表
AS殻運搬・処分	0.5	m3			施工 第0 -0008号内訳表
土砂運搬・処分	7	m3			施工 第0 -0012号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコン[再](13) t=50mm 砂散布なし プライムコート	9	m2			施工 第0 -0015号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 以上 仕上り厚15cm	9	m2			施工 第0 -0058号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0017/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管布設工 (HIVP・PE φ50) ドレン						
管材費 (HIVP・TS φ50) ドレン						
	1		式			代価 第0010号内訳表
その他材料費 (HIVP・TS φ50) ドレン						
	1		式			代価 第0011号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径 50mm						
	2.2		m			施工 第0 -0093号内訳表
硬質塩化ビニル管(新設管)切断工 φ50mm						
	3		口			施工 第0 -0094号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 50mm)						
	6		口			施工 第0 -0095号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 50mm						
	13.5		m			施工 第0 -0096号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径50mm						
	3		口			施工 第0 -0097号内訳表
ポリエチレン管継手工 呼び径 50mm						
	6		口			施工 第0 -0098号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0018/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼管小口径管ねじ込み接合 呼び径 50mm	1		口			施工 第0 -0099号内訳表
管明示シート工	15.7		m			施工 第0 -0047号内訳表
消火栓設置工						
管材費（消火栓）	1		式			代価 第0012号内訳表
その他材料費（消火栓）	1		式			代価 第0013号内訳表
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工 フランジ 接合1口含む	1		箇所			施工 第0 -0100号内訳表
消火栓室設置工 円形 3号 d=0.8m	1		箇所			施工 第0 -0101号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) J W W A 7.5K	1		口			施工 第0 -0067号内訳表
仮設工						

工 事 費 内 訳 書

頁0-0019/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工						
交通管理工						
交通誘導警備員 B						
	204		人日			施工 第0 -0102号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						
運搬費						
仮設材運搬費			式			
			式			
仮設材等の運搬（往路） 製品長→12m以内 ；運搬距離3.6km	1.9		t			施工 第0 -0103号内訳表
仮設材等の運搬（復路） 製品長→12m以内 ；運搬距離3.6km	1.9		t			施工 第0 -0104号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0020/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材等の積込み・取卸し 〔積込み取卸し(往復分)〕						
	1.9		t			施工 第0 -0105号内訳表
技術管理費			式			
通水試験費			式			
通水試験工 既設管と連絡可能のため給水車不要	1		日			施工 第0 -0106号内訳表
共通仮設費率 分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			

工 事 費 内 訳 書						頁0-0021/0139
費目・工種・種別・細目		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スクラップ控除						
			式			
スクラップ控除費						
	1		式			工種 第0001号明細表
工事価格計						
消費税相当額						
			式			
総 計						

頁0-0021/0139

スクラップ控除費

工種明細表

工種 第0001号明細表

頁0-0022/0139

[illegible]

土留材質料 (DCIP φ400)

代 価 表

代価 第0001号内訳表

頁0-0023/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鋼矢板 損料・基本料					
	1	式			
アルミ腹起し材 損料・基本料					
	1	式			
支保工（水圧サポート） 損料・基本料					
	1	式			
水圧ポンプ 損料・基本料					
	1	式			
単 位 当 り					
	1	式			

管材費 (DCIP φ400)

代 価 表

代価 第0002号内訳表

頁0-0024/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
DCIP 直管 GX形 1 種 φ400×6000L	1	本			K 管材費
DCIP 曲管 GX形内紛 φ400×22° 1/2	3	個			K 管材費
DCIP 曲管 GX形内紛 φ400×5° 5/8	1	個			K 管材費
DCIP 二受丁字管 GX形内紛 φ400×400	2	個			K 管材費
DCIP 受挿し片落管 GX形内紛 φ400×300	1	個			K 管材費
DCIP 挿し受片落管 GX形内紛 φ400×300	1	個			K 管材費
DCIP 短管 2 号 GX形内紛 φ400	1	個			K 管材費
ソフトシール仕切弁 GX形両受 φ400	1	個			K 管材費
フランジ接手材 φ400 GF SUS304 B, N 7.5K	2	組			K 管材費

管材費 (DCIP φ400)

代 価 表

代価 第0002号内訳表

頁0-0025/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
挿し口リング GX形 φ400	3	個			K 管材費
接続部材 GX形 φ400	11	個			K 管材費
接続部材 GX形 φ300	1	個			K 管材費
ライナ GX形 φ400	1	個			K 管材費
メカ帽 K形 特押あり φ400	1	個			K 管材費
不断水丁字管 φ400×400 DIP用 F型	1	基			K 管材費
フランジ補強金具 φ400	2	組			K 管材費
ソフトシール仕切弁 水道用 φ400	1	個			K 管材費
単 位 当 り	1	式			

その他材料費 (DCIP φ400)

代 価 表

代価 第0003号内訳表

頁0-0026/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁ボックス 円形2号 d=1.4m					
	2	組			
ポリエチレンスリーブ φ400					
	2	枚			
固定ゴムバンド φ400					
	16	個			
埋設表示シート W150					
	10.3	m			
管明示テープ 幅50mm, 塩化ビニル製					
	24.2	m			
単 位 当 り					
	1	式			

管材費 (DCIP φ300)

代 価 表

代価 第0004号内訳表

頁0-0027/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
DCIP 直管 GX形 1 種 φ 300×6000L	1	本			K 管材費
DCIP 継輪 GX形内紛 φ 300	1	個			K 管材費
DCIP 挿し受片落管 GX形内紛 φ 300×250	1	個			K 管材費
G-Link セット φ 300	2	組			K 管材費
接続部材 GX形 φ 250	1	個			K 管材費
ライナ GX形 φ 300	1	個			K 管材費
単 位 当 り	1	式			

その他材料費 (DCIP φ300)

代 価 表

代価 第0005号内訳表

頁0-0028/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレンスリーブ φ300					
	2	枚			
固定ゴムバンド φ300					
	10	個			
埋設表示シート W150					
	6.2	m			
管明示テープ 幅50mm, 塩化ビニル製					
	6.3	m			
単 位 当 り					
	1	式			

管材費 (DCIP φ250)

代 価 表

代価 第0006号内訳表

頁0-0029/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
DCIP 直管 GX形 1 種 φ 250×5000L	91	本			K 管材費
DCIP 曲管 GX形内紛 φ 250×90°	1	個			K 管材費
DCIP 曲管 GX形内紛 φ 250×45°	9	個			K 管材費
DCIP 曲管 GX形内紛 φ 250×22° 1/2	3	個			K 管材費
DCIP 曲管 GX形内紛 φ 250×11° 1/4	1	個			K 管材費
DCIP 両受曲管 GX形内紛 φ 250×45°	2	個			K 管材費
DCIP 両受曲管 GX形内紛 φ 250×22° 1/2	2	個			K 管材費
DCIP 二受丁字管 GX形内紛 φ 250×250	1	個			K 管材費
DCIP F付丁字管 GX形内紛 φ 250×75	2	個			K 管材費

管材費 (DCIP φ250)

代 価 表

代価 第0006号内訳表

頁0-0030/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
DCIP 挿し受片落管 GX形内紛 φ250×200	1	個			K 管材費
DCIP 継輪 GX形内紛 φ250	1	個			K 管材費
ソフトシール仕切弁 GX形両受 φ250	1	個			K 管材費
ボール型補修弁 レバー式 φ75×100H	1	個			K 管材費
急速空気弁 φ25 カムレバーロック式	1	基			K 管材費
フランジ接手材 φ75 GF SUS304 B, N 7.5K	1	組			K 管材費
フランジ接手材 φ75 RF SUS304 B, N 7.5K	1	組			K 管材費
G-Link セット φ250	15	組			K 管材費
接続部材 GX形 φ250	15	個			K 管材費

代 価 表

頁0-0031/0139

1 式 当り

[illegible]

その他材料費 (DCIP φ250)

代 価 表

代価 第0007号内訳表

頁0-0032/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁ボックス 円形2号 d=0.8m	1	組			
空気弁ボックス d=0.8m	1	組			
ポリエチレンスリーブ φ250	93	枚			
固定ゴムバンド φ250	739	個			
埋設表示シート W150	461.4	m			
管明示テープ 幅50mm, 塩化ビニル製	470.6	m			
単 位 当 り	1	式			

管材費 (DCIP φ200)

代 価 表

代価 第0008号内訳表

頁0-0033/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
DCIP 直管 GX形 1 種 φ200×5000L	1	本			K 管材費
DCIP 曲管 GX形内紛 φ200×11° 1/4	1	個			K 管材費
ソフトシール仕切弁 GX形受挿し φ200	1	個			K 管材費
G-Link セット φ200	1	組			K 管材費
接続部材 GX形 φ200	1	個			K 管材費
ライナ GX形 φ200	1	個			K 管材費
DCIP 曲管 K形 φ200×90°	1	個			K 管材費
不断水丁字管 DIP用 VK型 φ250×200	1	基			K 管材費
不断水仕切弁 φ250	1	個			K 管材費

代 価 表

頁0-0034/0139

1 式 当り

[illegible]

その他材料費 (DCIP φ200)

代 価 表

代価 第0009号内訳表

頁0-0035/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁ボックス 円形2号 d=0.8m	1	組			
仕切弁ボックス 円形2号 d=1.2m	2	組			
ポリエチレンスリーブ φ200	1	枚			
固定ゴムバンド φ200	6	個			
埋設表示シート W150	3.6	m			
管明示テープ 幅50mm, 塩化ビニル製	2.9	m			
単 位 当 り	1	式			

管材費 (HIVP・TS φ50) ドレン

代 価 表

代価 第0010号内訳表

頁0-0036/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
HIVP-TS 直管 φ 50×4000L	1	本			K 管材費
HIVP-TS エルボ φ 50×90°	2	個			K 管材費
HIVP-TS ソケット φ 50	1	個			K 管材費
ポリエチレン管 二層管 φ 50	13.5	m			K 管材費
PE エルボ φ 50×90°	2	個			K 管材費
PE接手オネジソケット φ 50	1	個			K 管材費
PE接手 HIシモク付 塩ビ用ソケット φ 50	1	個			K 管材費
単 位 当 り	1	式			

管材費 (消火栓)

代 価 表

代価 第0012号内訳表

頁0-0038/0139

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
消火栓 地下式単口 φ75	1	基			K 管材費
ボール型補修弁 レバー式 φ75×100H	1	個			K 管材費
フランジ接手材 φ75 GF SUS304 B,N 7.5K	1	組			K 管材費
フランジ接手材 φ75 RF SUS304 B,N 7.5K	1	組			K 管材費
単 位 当 り	1	式			

代 價 表

頁0-0039/0139

1 式 当り

[illegible]

積算単価算出表

舗装版切断(アスファルト舗装版)

[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

[摘要]

施工 第0 -0001号内訳表

頁0-0040/0139

1 m 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・湿式] 20cm級			
	K								
	R1		特殊作業員			特殊作業員			
	R2		土木一般世話役			週休2日対象 土木一般世話役			
	R3		普通作業員			週休2日対象 普通作業員			
	R					週休2日対象			
	Z1		コンクリートカッタ(フレート) 径18インチ			舗装版切断 カッターフレート 径18インチ			
	Z2		ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
	Z								
						計			
積算単価 =									
A	舗装版種別			=1	アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚			=1	15cm以下				

施工 第0 -0002号内訳表

頁0-0041/0139

〔規格1〕舗装厚⇒0cm越え 10cm以下

〔規格 2〕

[摘要]

100

m2

当り

[illegible]

施工 第0 -0004号内訳表

頁0-0042/0139

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

100

m3

当り

[illegible]

掘削

[規格 2]

[摘要]

頁0-0043/0139

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0006号内訳表

頁0-0044/0139

埋戻工（埋戻し材→再生切込碎石）

[規格1]

[規格2]

[摘要]

100

m3

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					
普通作業員		人			
週休2日対象					
再生切込碎石 (0～30mm・0～40mm)		m3			
バックホ運転		時間			
タンク 運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=5 =3	再生切込碎石 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0045/0139

〔規格 1〕

〔規格 2〕

[摘要]

m3

当り

[illegible]

施工 第0 -0009号内訳表

頁0-0046/0139

[規格 1] 処理対象→As塊・Co塊 (無筋)

[規格 2]

[摘要]

10

m3

当り

[illegible]

頁0-0048/0139

当り

[illegible]

施工 第0 -0013号内訳表

頁0-0049/0139

〔規格 1〕 処理対象→土砂

[規格 2]

[摘要]

10

m3

当り

[illegible]

頁0-0050/0139

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0015号内訳表

頁0-0051/0139

アスファルト舗装工（人力）

[規格1] 密粒度アスコン[再] (13) t=5 0mm

[規格2] 砂散布なし プライムコート

[摘要]

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					12
特殊作業員		人			
週休2日対象					12
普通作業員		人			
週休2日対象					12
再生密粒度アスコン TOP13		t			
アスファルト乳剤 PK-3 (プライムコート用)		L			
振動ローラ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=10	密粒度アスコン[再] (13)		
B 仕上り厚 (mm)		=50	仕上り厚 (mm)		
C 瀝青材の種類		=2	プライムコート		
D 砂散布の有無		=1	なし		
E 歩車道区分		=1	車道及び路肩		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

施工単価表

施工 第0 -0018号内訳表

頁0-0052/0139

アスファルト舗装工（人力）

〔規格1〕密粒度アスコン〔再〕(13) t=5.0mm

〔規格2〕砂散布なし タックコート

〔 摘要 〕

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					12
特殊作業員		人			
週休2日対象					12
普通作業員		人			
週休2日対象					12
再生密粒度アスコン TOP13		t			
アスファルト乳剤 PK-4 (タックコート用)		L			
振動ローラ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=10	密粒度アスコン〔再〕(13)		
B 仕上り厚 (mm)		=50	仕上り厚 (mm)		
C 瀝青材の種類		=1	タックコート		
D 砂散布の有無		=1	なし		
E 歩車道区分		=1	車道及び路肩		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

施工単価表

施工 第0 -0019号内訳表

頁0-0053/0139

アスファルト舗装工（人力）

[規格1] 粗粒度アスコン[再] (20) t=5 0mm

[規格2] 砂散布なし タックコート

[摘要]

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					12
特殊作業員		人			
週休2日対象					12
普通作業員		人			
週休2日対象					12
再生粗粒度アスコン TOP20		t			
アスファルト乳剤 PK-4 (タックコート用)		L			
振動ローラ運転		日			12
振動コンパクタ運転		日			12
諸雑費		%			#02
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A アスファルト混合物の種類		=4	粗粒度アスコン[再] (20)		
B 仕上り厚 (mm)		=50	仕上り厚 (mm)		
C 瀝青材の種類		=1	タックコート		
D 砂散布の有無		=1	なし		
E 歩車道区分		=1	車道及び路肩		
F 昼夜間区分		=1	昼間工事		

積算単価算出表

上層路盤(車道・路肩部)

[規格1] 瀝青安定処理材(再生材) TOP25

[規格2] t = 100mm プライムコート

[摘要]

施工 第0 -0020号内訳表

頁0-0054/0139

1 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5～0.6t [ハットガイト式]			振動ローラ(舗装用) [ハットガイト式] 0.5～0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40～60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40～60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員 週休2日対象			
R2	普通作業員			普通作業員 週休2日対象			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役 週休2日対象			
R							
Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理(40) t=80mm			瀝青安定処理(再生材)			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	ガソリン レギュラー スタント			レギュラーガソリン			
Z4	軽油 ハートル給油			軽油			
Z							

上層路盤(車道・路肩部)

[規格2] $t = 100\text{mm}$ フライムコート

[摘要]

頁0-0055/0139

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0024号内訳表

頁0-0058/0139

軽量鋼矢板工（両側分）（たて込み・引抜き）

[規格1] 掘削深2.0m以下

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					
特殊作業員		人			
週休2日対象					
普通作業員		人			
週休2日対象					
バックホウ運転（たて込み）		時間			施工 第0-0025号内訳表
バックホウ運転（引抜き）		時間			施工 第0-0026号内訳表
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業区分		=3	たて込み・引抜き		
B 掘削深		=2	2.0m以下		
C 機種選定（たて込み）		=3	バックホウ 山積0.28m3		
D 機種選定（引抜き）		=2	バックホウ 山積0.28m3		

頁0-0059/0139

[規格 1]

〔規格 2〕

[摘要]

1

時間 当り

[illegible]

施工 第0 -0026号内訳表

頁0-0060/0139

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

時間 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0027号内訳表

頁0-0061/0139

軽量鋼矢板工（両側分）（たて込み・引抜き）

[規格1] 掘削深2.5m以下

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					
特殊作業員		人			
週休2日対象					
普通作業員		人			
週休2日対象					
バックホウ運転（たて込み）		時間			施工 第0-0025号内訳表
バックホウ運転（引抜き）		時間			施工 第0-0026号内訳表
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業区分		=3	たて込み・引抜き		
B 掘削深		=3	2.5m以下		
C 機種選定（たて込み）		=3	バックホウ 山積0.28m3		
D 機種選定（引抜き）		=2	バックホウ 山積0.28m3		

頁0-0062/0139

当り

[illegible]

施工 第0 -0029号内訳表

頁0-0063/0139

〔規格 1〕呼び径 400mm

[規格 2]

[摘要]

10	m	当り
----	---	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0030号内訳表

頁0-0064/0139

鋳鉄管切断・溝切り加工(専用工具)

[規格1] 2工程 呼び径400mm、GX形継手

[規格2]

[摘要]

1 口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
パイプ切削切断機 機械損料	0.31	日			
溝切り・切断刃損耗費		式			
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 継手種別		=2	GX形		
B 呼び径		=8	400mm		
C 加工内容		=1	切断・溝切り2工程		
D 専用工具機械損料(円/日)の単価コード		=1113	専用工具機械損料(円/日)の単価コード		
E ★★専用工具溝切り刃価格(円/枚)		=	★★専用工具溝切り刃価格(円/枚)		
F ★★専用工具切断刃価格(円/枚)		=	★★専用工具切断刃価格(円/枚)		

施工単価表

施工 第0 -0031号内訳表

頁0-0065/0139

鋳鉄管切断・溝切り加工(専用工具)

[規格1] 呼び径400mm、GX形継手

[規格2]

[摘要]

1 口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
パイプ切削切断機 機械損料	0.22	日			
溝切り・切断刃損耗費		式			
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 継手種別		=2	GX形		
B 呼び径		=8	400mm		
C 加工内容		=2	溝切り加工のみ		
D 専用工具機械損料(円/日)の単価コード		=1113	専用工具機械損料(円/日)の単価コード		
E ★★専用工具溝切り刃価格(円/枚)		=	★★専用工具溝切り刃価格(円/枚)		
F ★★専用工具切断刃価格(円/枚)		=	★★専用工具切断刃価格(円/枚)		

頁0-0066/0139

1 口 当り

[illegible]

頁0-0067/0139

当り

[illegible]

施工 第0 -0034号内訳表

頁0-0068/0139

[規格 1] 異形管

[規格 2]

[摘要]

1	口	当り
---	---	----

[illegible]

頁0-0069/0139

1 口 当り

[illegible]

施工 第0 -0037号内訳表

頁0-0071/0139

〔規格 1〕 J WWA 7.5K

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

施工 第0 -0038号内訳表

鑄鉄製仕切弁(機械力)設置

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

頁0-0073/0139

[規格 1] 凹形 2 号 $d=1.4\text{m}$

[規格 2]

[摘要]

箇所

当り

[illegible]

施工 第0 -0040号内訳表

頁0-0074/0139

〔規格 1〕

〔規格 2〕

[摘要]

1	組	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0041号内訳表

頁0-0075/0139

〔規格1〕円形2号 内径350 調整リング 高さ 100mm 〔規格2〕

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工单価表

施工 第0 -0042号内訳表

頁0-0076/0139

レジンコンクリート製ボックス設置（円形）

〔規格1〕凹形2号 内径350 上部壁 高さ 150mm

[規格 2]

[摘要]

個

当り

[illegible]

施工 第0 -0043号内訳表

頁0-0077/0139

[規格 1] 凹形2号 内径350 中部壁 高さ 200mm [規格 2]

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0044号内訳表

頁0-0078/0139

〔規格1〕凹形2号 内径350 下部壁 高さ 300mm 〔規格2〕

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0045号内訳表

頁0-0079/0139

[規格 1] 凹形2号 内径350 底版

[規格 2]

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0046号内訳表

頁0-0080/0139

〔規格 1〕

〔規格 2〕

[摘要]

100

m

当り

[illegible]

頁0-0083/0139

当り

[illegible]

頁0-0085/0139

当り

[illegible]

頁0-0086/0139

1 口 当り

[illegible]

頁0-0087/0139

当り

[illegible]

頁0-0088/0139

当り

[illegible]

施工 第0 -0056号内訳表

頁0-0089/0139

〔規格1〕呼び径300mm×6000mm

[規格 2]

[摘要]

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0057号内訳表

頁0-0090/0139

メカニカル継手 取外し(呼び径 300mm)

[規格1]継手: K形 特殊押輪補正あり

[規格2]既設管路部

[摘要]

1

口

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			(取外し) 34
週休2日対象 普通作業員		人			(取外し) 34
週休2日対象 諸雑費		%			#03 (取外し) 4
耐震型補強金具使用による補正		口			
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分		=2	取外し		
B 継手の種類		=5	K形		
C 呼び径		=6	呼び径 300mm		
E 特殊押輪使用による補正の有無		=2	特殊押輪補正あり		
F ★★割増補正(%)		=	★★割増補正(%)		
G 現場状況		=1	良好 (係数 1.0)		
I 耐震型補強金具使用による補正の有無		=2	耐震型補強金具補正あり		

施工単価表

施工 第0 -0058号内訳表

頁0-0091/0139

路盤工(粒調碎石)

[規格1]上層路盤 施工幅：1.8m 以上 仕上り厚15cm [規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
週休2日対象					
粒調碎石 (0～25mm・0～30mm・0～40mm)		m3			
振動ロー運転 (賃料)		日			
クレーン運転 (賃料)		日			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A 路盤工種別		=1	上層路盤		
B 施工幅		=2	施工幅：1.8m 以上		
C 路盤材の種類		=2	粒調碎石		
D 仕上り厚		=11	15cm		

施工単価表

施工 第0 -0060号内訳表

頁0-0092/0139

路盤工(粒調碎石)

[規格1]上層路盤 施工幅：1.8m 以上 仕上り厚10cm [規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
週休2日対象					
粒調碎石 (0～25mm・0～30mm・0～40mm)		m3			
振動ロー運転 (賃料)		日			
クレーン運転 (賃料)		日			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			
A 路盤工種別		=1	上層路盤		
B 施工幅		=2	施工幅：1.8m 以上		
C 路盤材の種類		=2	粒調碎石		
D 仕上り厚		=6	10cm		

施工 第0 -0061号内訳表

頁0-0093/0139

〔規格 1〕呼び径 250mm

[規格 2]

[摘要]

10

m

当り

[illegible]

施工 第0 -0063号内訳表

頁0-0095/0139

[規格 1] 直管

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

施工 第0 -0064号内訳表

頁0-0096/0139

〔規格 1〕 G-Linkの接合

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

頁0-0097/0139

1	口	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0066号内訳表

頁0-0098/0139

〔規格1〕継手：K形 特殊押輪補正あり

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

施工 第0 -0067号内訳表

頁0-0099/0139

〔規格 1〕 J WWA 7.5K

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

施工 第0 -0068号内訳表

頁0-0100/0139

〔規格1〕縦型仕切弁 呼び径 250mm

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0 -0069号内訳表

頁0-0101/0139

[規格1] 凹形2号 d=0.8m

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工单価表

施工 第0 -0070号内訳表

頁0-0102/0139

レジンコンクリート製ボックス設置（円形）

〔規格1〕 円形2号 内径350 調整リング 高さ 50mm 〔規格2〕

[摘要]

1 個 当り

[illegible]

頁0-0103/0139

〔規格1〕人力施工 カムレバーロック式

[規格 2]

[摘要]

1

箇所

当り

[illegible]

施工 第0 -0072号内訳表

頁0-0104/0139

[規格1] 凹形3号 d=0.8m

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工单価表

施工 第0-0073号内訳表

頁0-0105/0139

鉄蓋設置工(円形3号 内径500)

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

組

当り

[illegible]

施工单価表

施工 第0 -0074号内訳表

頁0-0106/0139

レジンコンクリート製ボックス設置（円形）

[規格1] 凹形3号 内径500 上部壁 高さ 200mm

〔規格 2〕

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0075号内訳表

頁0-0107/0139

[規格1] 凹形3号 内径500 中部壁 高さ 100mm [規格2]

[摘要]

1 個 当り

[illegible]

施工单価表

施工 第0 -0076号内訳表

頁0-0108/0139

レジンコンクリート製ボックス設置（円形）

[規格1] 凹形3号 内径500 下部壁 高さ 300mm

[規格 2]

[摘要]

1 個 当り

[illegible]

施工 第0 -0077号内訳表

頁0-0109/0139

[規格 1] 凹形3号 内径500 底版

〔規格 2〕

[摘要]

1	個	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0078号内訳表

頁0-0110/0139

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

100

m

当り

[illegible]

施工 第0 -0079号内訳表

頁0-0111/0139

〔規格 1〕呼び径250mm×5000mm

[規格 2]

[摘要]

100

m

当り

[illegible]

頁0-0112/0139

当り

[illegible]

施工 第0 -0082号内訳表

頁0-0114/0139

〔規格 1〕呼び径 200mm

[規格 2]

[摘要]

10

m

当り

[illegible]

施工 第0 -0084号内訳表

頁0-0116/0139

〔規格 1〕直管

〔規格 2〕

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

施工 第0 -0085号内訳表

頁0-0117/0139

〔規格 1〕G-Linkの接合

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0087号内訳表

頁0-0119/0139

不断水連絡工(φ250mm×φ200mm)

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員		人			
週休2日対象					1
配管工		人			
週休2日対象					1
普通作業員		人			
週休2日対象					1
穿孔機 機械損料	0.27	日			
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	箇所			
A 本管呼び径×取出呼び径 B 不断水穿孔機損料(円/日)の単価コード		=24 =1112	φ250mm×φ200mm 不断水穿孔機損料(円/日)の単価コード		

施工 第0 -0088号内訳表

頁0-0120/0139

〔規格1〕縦型仕切弁 呼び径 200mm

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0 -0089号内訳表

頁0-0121/0139

[規格1] 凹形2号 d=1.2m

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0 -0090号内訳表

頁0-0122/0139

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

100

m

当り

[illegible]

頁0-0123/0139

【規格1】呼び径200mm×5000mm

[規格 2]

[摘要]

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0 -0092号内訳表

頁0-0124/0139

埋戻工（埋戻し材→スクリーニングス）

[規格1]

[規格2]

[摘要]

100

m3

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
週休2日対象					
普通作業員		人			
週休2日対象					
スクリーニングス (0～2.5mm)		m3			
バックホ運転		時間			
タンク 運転（賃料）		日			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=6 =3	スクリーニングス バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

頁0-0125/0139

当り

[illegible]

頁0-0126/0139

1 口 当り

[illegible]

施工 第0-0095号内訳表

頁0-0127/0139

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

2

1

当り

[illegible]

頁0-0128/0139

当り

[illegible]

施工 第0 -0097号内訳表

頁0-0129/0139

〔規格 1〕呼び径50mm

[規格 2]

[摘要]

1 口 当り

[illegible]

頁0-0130/0139

1	口	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0099号内訳表

頁0-0131/0139

〔規格 1〕呼び径 50mm

[規格 2]

[摘要]

2 口 当り

[illegible]

施工 第0 -0100号内訳表

頁0-0132/0139

〔規格1〕機械施工 フランジ 接合1口含む

[摘要]

1	箇所	当り
---	----	----

[illegible]

頁0-0133/0139

[規格 1] 凹形 3 号 d=0.8m

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0102号内訳表

頁0-0134/0139

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

人目 当り

[illegible]

施工 第0 -0103号内訳表

頁0-0135/0139

[規格1]製品長→12m以内

〔規格 2〕

[摘要]

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0104号内訳表

頁0-0136/0139

[規格 1] 製品長→12m以内

[規格 2]

[摘要]

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0105号内訳表

頁0-0137/0139

〔規格 1〕〔積込み取卸し(往復分)〕

[規格 2]

[摘要]

1	t	当り
---	---	----

[illegible]

施工 第0 -0106号内訳表

頁0-0138/0139

〔規格1〕既設管と連絡可能のため給水車不要

[規格 2]

[摘要]

1 目 当り

[illegible]

機 勞 材 集 計 表

頁0-0139/0139

項番	集計 区分	単価コード	単 価 名 称	数量累計	単 位	単 価 値	金 額	
			積込み・取卸し費					
			バックホ(ローラ型)					
			ダンプトラック					
			トラック					
			振動ローラ(舗装用)					
			振動コンパクタ					
			コンクリートカッター					
			特殊作業員					
			普通作業員					
			運転手(特殊)					
			運転手(一般)					
			土木一般世話役					
			配管工					
			交通誘導警備員B					
			粒調砕石					県産品有
			スクリーニングス					県産品有
			再生切込砕石					県産品有
			瀝青安定処理(再生材)					県産品有
			再生粗粒度アスコン					県産品有
			再生密粒度アスコン					県産品有
			鉄屑					
			レギュラーガソリン					
			軽油					
			アスファルト乳剤					
			アスファルト乳剤					
			舗装版切断 カッタープレート					
			管明示テープ					
			受入価格					
			受入価格					
			損耗費 (タイヤ)					
			トラッククレーン					
			振動ローラ(排出ガス対策型含)					
			タンバ (ランマ)					

数量総括表

工 事 名			令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 老朽配水管布設替工事（高区系統第6工区）		事業区分 工事区分	水道施設工事 管路	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目			算 式		数 量	単位	摘 要
本工事費							
管路							
開削工							
管路土工（配水管φ400）							
		舗装版切断（アスファルト舗装版）	As舗装版厚→15cm以下				
			25.60 = 25.60	26	m		
		舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下				
			14.59 = 14.59	15	m2		
		掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3				
			21.17 = 21.17	21	m3		
		掘削	土砂 現場制約あり				
			2.69 = 2.69	3	m3		
		埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）	バックホウ 山積0.28m3				
			19.42 = 19.42	19	m3		
		残塊運搬工・処分費	アスファルト殻 ダンプトラック(4t積) L=6.6km				
			1.42 = 1.42	1	m3		
		残土運搬工・処分費	土砂 ダンプトラック(4t積) L=1.0km				
			23.86 = 23.86	24	m3		
		舗装仮復旧工 表層（車道・路肩部）	t=50mmプライムコート 密粒度アスコン[再](13)				
			1.00 = 1.00	1	m2		
		舗装仮復旧工 表層（車道・路肩部）	t=50mmタックコート 密粒度アスコン[再](13)				
			13.59 = 13.59	14	m2		
		舗装復旧工 基層（車道・路肩部）	t=50mmタックコート 粗粒度アスコン[再](20)				
			13.59 = 13.59	14	m2		
		路盤工（加熱安定処理工）	上層路盤 施工幅:1.4m未満 仕上り厚10cm プライムコート				
			13.59 = 13.59	14	m2		
		路盤工（粒調砕石）	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚15cm				
			1.00 = 1.00	1	m2		
		路盤工（粒調砕石）	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚10cm				
			13.59 = 13.59	14	m2		
		汚泥運搬工・処分費	カッター汚泥 ダンプトラック(2t積) L=15.4km				
			1.00 = 1.00	1	式	処分量 1.91t	
土留工							
		土留材質料					
			1 = 1	1	式		
		軽量鋼矢板工（両側分） （建て込み・引き抜き）	掘削深 2.0m以下 矢板長 L=2.0m				
			7.1 = 7.1	7.1	m	6.6(φ250)+0.5(φ50)	
		軽量鋼矢板工（両側分） （建て込み・引き抜き）	掘削深 2.5m以下 矢板長 L=2.5m				
			10.1 = 10.1	10.1	m	φ400	
		支保工（軽量金属）設置・撤去	段数 1段				
			17.2 = 17.2	17.2	m	7.1+10.1	
管布設工（配水管φ400）							
		管材費（φ400）					
			1 = 1	1	式		
		その他材料費（φ400）					
			1 = 1	1	式		
		鋳鉄管吊込み据付（機械力）	呼び径 400mm				
			10.3 = 10.3	10.3	m		
		鋳鉄管(新設管)切断工 切断・加工(パイプ切断機)	ダクタイル鋳鉄管 呼び径 400mm				
			3 = 3	3	口		
		鋳鉄管(新設管)切断工 加工のみ(パイプ切断機)	ダクタイル鋳鉄管 呼び径 400mm				
			1 = 1	1	口		
		鋳鉄管(GX)挿しロリング取付工	ダクタイル鋳鉄管 呼び径 400mm				
			3 = 3	3	口		
		GX継手接合（呼び径 400mm）	直管				
			1 = 1	1	口		
		GX継手接合（呼び径 400mm）	異形管				
			11 = 11	11	口		
		GX継手接合（呼び径 300mm）	異形管				
			1 = 1	1	口		
		マンホウ継手接合（呼び径 400mm）	継手：K形 特殊押輪補正あり				
			1 = 1	1	口		
		マンホウ継手接合（呼び径 400mm）	JWWA 7.5K				
			2 = 2	2	口		
		不断水連絡工（400mm×400mm）	DIP用 F型 φ400×400				
			1 = 1	1	箇所		
		鋳鉄製仕切弁(機械力)設置	縦型仕切弁 呼び径 400mm				
			2 = 2	2	箇所		
		仕切弁室設置工	円形2号 d=1.4m				
			2 = 2	2	箇所		

数量総括表

工 事 名			令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 老朽配水管布設替工事（高区系統第6工区）			事業区分 工事区分	水道施設工事 管路	
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目			算 式			数 量	単位	摘 要
		ホリチレンスリーブ被覆 (呼び径 400mm)						
			10.3	=	10.3	10.3	m	
		管明示シート工						
			10.3	=	10.3	10.3	m	
		管明示テープ工（铸铁管布設工）	呼び径 400mm×6000mm					
			10.3	=	10.3	10.3	m	材料 L=24.2m
		管路土工（配水管φ300）						
		舗装版切断（アスファルト舗装版）	As舗装版厚→15cm以下					
			12.40	=	12.40	12	m	
		舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下					
			4.34	=	4.34	4	m2	
		掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3					
			4.40	=	4.40	4	m3	
		埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）	バックホウ 山積0.28m3					
			3.04	=	3.04	3	m3	
		残塊運搬工・処分費	アスファルト殻 ダンプトラック(4t積) L=6.6km	0.43	=	0.43	0.4	m3
		残土運搬工・処分費	土砂 ダンプトラック(4t積) L=1.0km	4.40	=	4.40	4	m3
		舗装仮復旧工 表層（車道・路肩部）	t=50mmタックコート 密粒度アスコン[再] (13)	4.34	=	4.34	4	m2
		舗装復旧工 基層（車道・路肩部）	t=50mmタックコート 粗粒度アスコン[再] (20)	4.34	=	4.34	4	m2
		路盤工（加熱安定処理工）	上層路盤 施工幅:1.4m未満 仕上り厚10cm プライムコート	4.34	=	4.34	4	m2
		路盤工（粒調砕石）	上層路盤 施工幅:1.8m未満 仕上り厚10cm	4.34	=	4.34	4	m2
		管布設工（配水管φ300）						
		配水管φ300 管材費		1	=	1	1	式
		配水管φ300 その他材料費		1	=	1	1	式
		铸铁管吊込み据付（機械力）	呼び径 300mm	6.2	=	6.2	6.2	m
		铸铁管(新設管)切断工 (エンジンカッター)	ダクタイル铸铁管 呼び径 300mm	1	=	1	1	口
		GX継手接合（呼び径 300mm）	直管	1	=	1	1	口
		GX継手接合（呼び径 300mm）	G-Linkの接合	2	=	2	2	口
		GX継手接合（呼び径 250mm）	異形管	1	=	1	1	口
		ホリチレンスリーブ被覆 (呼び径 300mm)		6.2	=	6.2	6.2	m
		管明示シート工		6.2	=	6.2	6.2	m
		管明示テープ工（铸铁管布設工）	呼び径 300mm×6000mm	6.2	=	6.2	6.2	m
		既設 メカニカル継手取外工（呼び径 300mm）	継手：K形 特殊押輪補正あり	1	=	1	1	口
		管路土工（配水管φ250）						
		舗装版切断（アスファルト舗装版）	As舗装版厚→15cm以下	1108.40	=	1108.40	1,110	m
		舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	377.55	=	377.55	378	m2
		掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3	400.09	=	400.09	400	m3
		掘削	土砂 現場制約あり	2.53	=	2.53	3	m3
		埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）	バックホウ 山積0.28m3	312.46	=	312.46	310	m3
		残塊運搬工・処分費	アスファルト殻 ダンプトラック(4t積) L=6.6km	32.40	=	32.40	32	m3
		残土運搬工・処分費	土砂 ダンプトラック(4t積) L=1.0km	402.62	=	402.62	400	m3
		舗装仮復旧工 表層（車道・路肩部）	t=50mmプライムコート 密粒度アスコン[再] (13)	138.80	=	138.80	139	m2
		舗装仮復旧工 表層（車道・路肩部）	t=50mmタックコート 密粒度アスコン[再] (13)	238.75	=	238.75	239	m2
		舗装復旧工 基層（車道・路肩部）	t=50mmタックコート 粗粒度アスコン[再] (20)	238.75	=	238.75	239	m2

数量総括表

工 事 名			令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 老朽配水管布設替工事（高区系統第6工区）		事業区分 工事区分	水道施設工事 管路		
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目			算 式		数 量	単位	摘 要	
		路盤工（加熱安定処理工）	上層路盤 施工幅：1.4m未満 仕上り厚10cm プライムコート	238.75	= 238.75	239	m2	
		路盤工（粒調砕石）	上層路盤 施工幅：1.8m未満 仕上り厚15cm	138.80	= 138.80	139	m2	
		路盤工（粒調砕石）	上層路盤 施工幅：1.8m未満 仕上り厚10cm	238.75	= 238.75	239	m2	
		管布設工（配水管φ250）						
		管材費（φ250）		1	= 1	1	式	
		その他材料費（φ250）		1	= 1	1	式	
		鋳鉄管吊込み据付（機械力）	呼び径 250mm	461.4	= 461.4	461.4	m	
		鋳鉄管（新設管）切断工 （エンジンカッター）	ダクタイル鋳鉄管 呼び径 250mm	12	= 12	12	口	
		GX継手接合（呼び径 250mm）	直管	91	= 91	91	口	
		GX継手接合（呼び径 250mm）	G-Linkの接合	15	= 15	15	口	
		GX継手接合（呼び径 250mm）	異形管	15	= 15	15	口	
		GX継手接合（呼び径 200mm）	異形管	1	= 1	1	口	
		マンホール継手接合（呼び径 250mm）	継手：K形 特殊押輪補正あり	3	= 3	3	口	
		フランジ継手接合（呼び径 75mm）	7.5K	2	= 2	2	口	
		鋳鉄製仕切弁（機械力）設置	縦型仕切弁 呼び径 250mm	1	= 1	1	箇所	
		仕切弁室設置工	円形2号 d=0.8m	1	= 1	1	箇所	
		空気弁設置 呼び径 13～25mm	人力施工 カムレバーロック式 急速空気弁 φ25	1	= 1	1	箇所	
		空気弁室設置工	円形3号 内径500 d=0.8m	1	= 1	1	箇所	
		ポリエチレンスリーブ被覆 （呼び径 250mm）		461.4	= 461.4	461.4	m	
		管明示シート工		461.4	= 461.4	461.4	m	
		管明示テープ工（鋳鉄管布設工）	呼び径 250mm×5000mm	461.4	= 461.4	461.4	m	材料 L=470.6m
		鋳鉄管（既設管）吊込み撤去（機械力）	呼び径 250mm	89.2	= 89.2	89.2	m	
		鋳鉄管（既設管）撤去切断工 （エンジンカッター）	鋳鉄管 呼び径 250mm	17	= 17	17	口	
		管路土工（配水管φ200）						
		舗装版切断（アスファルト舗装版）	As舗装版厚→15cm以下	9.40	= 9.40	9	m	
		舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2.82	= 2.82	3	m2	
		掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3	3.45	= 3.45	3	m3	
		埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）	バックホウ 山積0.28m3	2.84	= 2.84	3	m3	
		残塊運搬工・処分費	アスファルト殻 ダンプトラック（4t積）L=6.6km	0.14	= 0.14	0.1	m3	
		残土運搬工・処分費	土砂 ダンプトラック（4t積）L=1.0km	3.45	= 3.45	3	m3	
		舗装仮復旧工 表層（車道・路肩部）	t=50mmプライムコート 密粒度アスコン[再]（13）	2.82	= 2.82	3	m2	
		路盤工（粒調砕石）	上層路盤 施工幅：1.8m未満 仕上り厚15cm	2.82	= 2.82	3	m2	
		管布設工（配水管φ200）						
		管材費（φ200）		1	= 1	1	式	
		その他材料費（φ200）		1	= 1	1	式	
		鋳鉄管吊込み据付（機械力）	呼び径 200mm	3.6	= 3.6	3.6	m	
		鋳鉄管（新設管）切断工 （エンジンカッター）	ダクタイル鋳鉄管 呼び径 200mm	2	= 2	2	口	

数量総括表

工 事 名			令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 老朽配水管布設替工事（高区系統第6工区）			事業区分 工事区分	水道施設工事 管路		
工 種 ・ 種 別 ・ 細 目			算 式			数 量	単位	摘 要	
		GX継手接合（呼び径 200mm）	直管					口	
				1	=	1	1		
		GX継手接合（呼び径 200mm）	G-Linkの接合					口	
				1	=	1	1		
		GX継手接合（呼び径 200mm）	異形管					口	
				1	=	1	1		
		メカニカル継手接合（呼び径 250mm）	継手：K形 特殊押輪あり					口	
				1	=	1	1		
		メカニカル継手接合（呼び径 200mm）	継手：K形 特殊押輪あり					口	
				2	=	2	2		
		不断水連絡工（250mm×200mm）	DIP用 VK型					箇所	
				1	=	1	1		
		鋳鉄製仕切弁（機械力）設置	縦型仕切弁 呼び径 200mm					箇所	
				1	=	1	1		
		不断水仕切弁設置工 （ストッパー）	DIP用 呼び径 250mm					箇所	
				1	=	1	1		
		仕切弁室設置工	円形2号 d=0.8m					箇所	
				1	=	1	1		
		仕切弁室設置工	円形2号 d=1.2m					箇所	
				2	=	2	2		
		ポリエチレンスリーブ被覆 （呼び径 200mm）						m	
				3.6	=	3.6	3.6		
		管明示シート工						m	
				3.6	=	3.6	3.6		
		管明示テープ工（鋳鉄管布設工）	呼び径 200mm×5000mm					m	材料 L=2.9m
				3.6	=	3.6	3.6		
管路土工（ドレンφ50）									
		舗装版切断（アスファルト舗装版）	As舗装版厚→15cm以下					m	
				28.80	=	28.80	29		
		舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下					m2	
				8.79	=	8.79	9		
		掘削積込工	バックホウ 山積0.28m3					m3	
				6.66	=	6.66	7		
		埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）	バックホウ 山積0.28m3					m3	
				3.00	=	3.00	3		
		埋戻工（埋戻し材→スクリーニングス）	バックホウ 山積0.28m3					m3	
				2.21	=	2.21	2		
		残塊運搬工・処分費	アスファルト殻 ダンプトラック（4t積）L=6.6km					m3	
				0.45	=	0.45	0.5		
		残土運搬工・処分費	土砂 ダンプトラック（4t積）L=1.0km					m3	
				6.66	=	6.66	7		
		舗装仮復旧工 表層（車道・路肩部）	t=50mmプライムコート 密粒度アスコン[再]（13）					m2	
				8.79	=	8.79	9		
		路盤工（粒調砕石）	上層路盤 施工幅：1.8m未満 仕上り厚15cm					m2	
				8.79	=	8.79	9		
管布設工（ドレンφ50）									
		管材費（φ50）						式	
				1	=	1	1		
		その他材料費（φ50）						式	
				1	=	1	1		
		塩ビ管据付	呼び径 50mm					m	
				2.2	=	2.2	2.2		
		塩ビ管切断工	呼び径 50mm					口	
				3	=	3	3		
		塩ビ管継手工	呼び径 50mm TS					口	
				6	=	6	6		
		ポリエチレン管据付工	呼び径 50mm					m	
				13.5	=	13.5	13.5		
		ポリエチレン管切断工	呼び径 50mm					口	
				3	=	3	3		
		ポリエチレン管継手工	呼び径 50mm					口	
				6	=	6	6		
		鋼管継手工	呼び径 50mm ネジ込み					口	
				1	=	1	1		
		管明示シート工 アルミシート	W150					m	
				15.7	=	15.7	15.7		
消火栓設置工									
		管材費（消火栓）						式	
				1	=	1	1		
		その他材料費（消火栓）						式	
				1	=	1	1		

数量総括表

[illegible]

(DCIP-GX φ 400)										
配 管 材 料 数 量 表										
NO. 1										
上段：変更前 下段：変更後										
名 称	形状・寸法	単位	単位	A-2	A-5	A-6				合 計 摘 要
DCIP 直管	GX形1種 φ 400×6000L	1.000	m		4.05					1 切管用 (1本)
DCIP 曲管	GX形内粉 φ 400×22° 1/2	0.498	個		2	1				3 接続部材×1
DCIP 曲管	GX形内粉 φ 400×5° 5/8	0.390	個			1				1 接続部材×1
DCIP 二受丁字管	GX形内粉 φ 400×400	0.945	個	1	1					2 接続部材×2
DCIP 受挿し片落	GX形内粉 φ 400×300	0.530	個	1						1 接続部材×1
DCIP 挿し受片落	GX形内粉 φ 400×300	0.525	個	1						1 接続部材×1
DCIP 短管2号	GX形内粉 φ 400	0.510	個			1				1
ソフトソール仕切弁	GX形両受 φ 400	0.500	個		1					1 接続部材×2
フランジ継手材	SUS304 B, N GF φ 400 7.5K		組			2				2 短管+仕切弁
挿し口リング	GX形 φ 400		個		3					3
接続部材	GX形 φ 400		個	3	6	2				11
接続部材	GX形 φ 300		個	1						1
ラケ	GX形 φ 400	0.055	個		1					1
DCIP-マカ帽	K形 特押あり φ 400		個		1					1
不断水丁字管	DIP用 F型 φ 400×400	0.371	基			1				1
ソフトソール仕切弁	φ 400	0.470	基			1				1
フランジ補強金具	φ 400		組			2				2
仕切弁ボックス	円形2号 d=1.4m		組		1	1				2
ポリエチレンスリーブ	固定バンド含む φ 400		m	2.0	6.3	2.0				10.3
埋設標識シート	W150		m	2.0	6.3	2.0				10.3
配管明示テープ	天端テープあり DCIP φ 400		m	4.7	14.8	4.7				24.2 管延長×2.35 天端テープ含む
DCIP 二受丁字管	GX形内粉 φ 400×400	0.295	個		(1)	(1)				2 (分岐側1寸法)
管延長	(DCIP-GX φ 400)		m	2.0	6.3	2.0				10.3
仕切弁延長	(DCIP-GX φ 400)		m		0.5	0.5				1
総延長	(DCIP-GX φ 400)		m	2.0	6.8	2.5				11.3

切管調書

DCIP-GX ϕ 400 L= 6.00 m

NO. 3

[illegible]

下段：變更後

NO. 5

[illegible]

[illegible]

[illegible]

切管調書

DCIP-GX ϕ 300 L= 6.00 m

NO. 3

[illegible]

下段：変更後

土 工 数 量 計 算 表

NO. 5

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

切 管 調 書

DCIP-GX φ 250 L= 5.00 m

NO. 4

番号	甲 切 管	乙 切 管			使用長 (m)	残管長 (m)	切断 溝切	切断	G-Link
1	GX 4.00 G A-4			G 1.00 GX A-4	5.00			1	2
2	GX 1.64 G A-4			G 2.41 GX A-4	4.05	0.95		2	2
3	GX 4.08 G A-7				4.08	0.92		1	1
4	GX 1.25 G A-7			G 1.90 GX A-7	3.15	1.85		2	2
5	GX 1.78 G A-7	G 1.59 A-7	G G 1.00 GX A-7		4.37	0.63		3	4
6	GX 2.00 G A-8	G 1.00 K G 2.00 GX A-9			5.00			2	3
7	GX 4.20 G A-9				4.20	0.80		1	1
(本)	甲切管計	乙切管計			(m)	(m)	(口)	(口)	(個)
7	18.95 m	10.90 m			29.85	5.15		12	15

下段：變更後

NO. 6

[illegible]

下段：變更後

本 設 土 工 数 量 計 算 表

NO. 7

[illegible]

(DCIP-GX • K ϕ 200)

配管材料数量表

NO. 1

上段：变更前

下段：變更後

[illegible]

[illegible]

下段：變更後

NO. 2

[illegible]

切管調書

DCIP-GX ϕ 200 L= 5.00 m

NO. 3

[illegible]

下段：変更後

土 工 数 量 計 算 表

NO. 5

[illegible]

下段：變更後

NO. 1

[illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

切管調書

(HIVP ϕ 50) L= 4.00 m

NO. 3

[illegible]

切 管 調 書

(PE φ 50) L= 40.00 m

NO. 4

番号		乙 切 管			使用長 (m)	残管長 (m)	切断 溝切	切断	
1	——	$\frac{12.00}{B1}$	$\frac{1.00}{B1}$	$\frac{0.50}{B1}$	13.50	26.50		3	
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
	——	——	——	——					
(本)	甲切管計	乙切管計			(m)	(m)	(口)	(口)	(個)
1	m	13.50 m			13.50	26.50		3	

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

下段：變更後

NO. 6

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

掘削断面2

県道車道

[illegible]

掘削断面 3

県道車道

[illegible]

土工単位数量計算書				掘削断面 4	
布設管路		φ 250 mm 外径 φ 270 mm 控除 0.057 m ²	県道車道		
As 舗装 0.100 H=1.740 (矢板) d=1.470 1.640 掘削幅 B=0.900 密粒度As 粗粒度As 加熱安定処理工 粒調碎石 埋戻 再生碎石 機械掘削 DCIP-GX φ 250 mm 0.050舗装 0.0500.100 0.100路盤 0.1000.100 1.170 0.270					
工 種	形状寸法	算 式		単位	m当り 数量
舗装版切断工	As t=15cm以下	1.000	× 2	m	2.00
舗装版取壊工	As t=10cm以下	1.000	× 0.900	m ²	0.90
機械掘削工	機械	0.900	× 1.640	m ³	1.48
埋戻工	再生碎石	0.900	× 1.440 - 0.057	m ³	1.24
残塊運搬・処分工	As殻	0.900	× 0.100	m ³	0.09
残土運搬・処分工	土砂	1.480		m ³	1.48
舗装仮復旧工	密粒度As t=5cm タック	0.900	× 1.000	m ²	0.90
舗装復旧工	粗粒度As t=5cm タック	0.900	× 1.000	m ²	0.90
路盤工	加熱安定処理工 t=10cm プライム	0.900	× 1.000	m ²	0.90
路盤工	粒調碎石 t=10cm	0.900	× 1.000	m ²	0.90
矢板建込工	軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工1段	1.000	× 1	m	1.00

[illegible]

掘削断面 6

県道車道

[illegible]

掘削断面 7

市道車道

[illegible]

[illegible]

掘削断面 9

市道車道

[illegible]

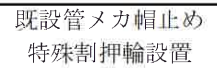
[illegible]

[illegible]

[illegible]

掘削断面 14

市道車道

[illegible]

土工単位数量計算書			不断水断面 A																												
既設管路		φ 400 mm 外径 φ 430 mm 控除 0.145 m ²	県道車道 丁字管部 (400×400)																												
As <table><tr><td rowspan="6">H=1.930 (矢板)</td><td rowspan="3">d=1.400</td><td>舗装</td></tr><tr><td>0.100</td></tr><tr><td>1.000</td></tr><tr><td>0.300</td></tr><tr><td>0.430</td></tr><tr><td>0.100</td></tr></table> 掘削幅 B=2.200 密粒度As 粗粒度As 加熱安定処理工 粒調碎石 埋戻 再生碎石 機械掘削 人力掘削 既設DIP φ 400 mm <table><tr><td>0.050</td><td>舗装</td></tr><tr><td>0.050</td><td>0.100</td></tr><tr><td>0.100</td><td>路盤</td></tr><tr><td>0.100</td><td>0.100</td></tr><tr><td>0.100</td><td>路盤</td></tr><tr><td>0.100</td><td>0.100</td></tr><tr><td>1.100</td><td>1.630</td></tr><tr><td>0.430</td><td></td></tr><tr><td>0.100</td><td></td></tr></table>						H=1.930 (矢板)	d=1.400	舗装	0.100	1.000	0.300	0.430	0.100	0.050	舗装	0.050	0.100	0.100	路盤	0.100	0.100	0.100	路盤	0.100	0.100	1.100	1.630	0.430		0.100	
H=1.930 (矢板)	d=1.400	舗装																													
		0.100																													
		1.000																													
	0.300																														
	0.430																														
	0.100																														
0.050	舗装																														
0.050	0.100																														
0.100	路盤																														
0.100	0.100																														
0.100	路盤																														
0.100	0.100																														
1.100	1.630																														
0.430																															
0.100																															
工 種	形状寸法	算 式		単位	m 当り 数量																										
舗装版切断工	As t=15cm以下	1.000	× 2	m	2.00																										
舗装版取壊工	As t=10cm以下	1.000	× 2.200	m ²	2.20																										
機械掘削工	機械	2.200	× 1.000	m ³	2.20																										
人力掘削工	人力	2.200	× 0.830 - 0.145	m ³	1.68																										
埋戻工	再生碎石	2.200	× 1.630 - 0.145	m ³	3.44																										
残塊運搬・処分工	As殻	2.200	× 0.100	m ³	0.22																										
残土運搬・運搬工	土砂	2.200	+ 1.680	m ³	3.88																										
舗装仮復旧工	密粒度As t=5cm タック	2.200	× 1.000	m ²	2.20																										
舗装復旧工	粗粒度As t=5cm タック	2.200	× 1.000	m ²	2.20																										
路盤工	加熱安定処理工 t=10cm プライム	2.200	× 1.000	m ²	2.20																										
路盤工	粒調碎石 t=10cm	2.200	× 1.000	m ²	2.20																										
矢板建込工	軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工1段	1.000	× 1	m	1.00																										

[illegible]

矢板計算書

仮設材賃料計算			
土留延長	φ 250 φ 250 φ 50		
矢板 H=2.0m	断面4 断面B 断面11 (断面Bは不断水) 4.40 + 2.20 + 0.50	7.10	m
矢板 H=2.5m: 全て φ 400	断面1 断面7 断面A (断面Aは不断水) 7.50 + 1.00 + 1.60	10.10	m
A: 重量	日進 (不断水施工は、2箇所/日とする) 6.3m = (7m/日*4.4m+4.4m/日*2.2m+9m/日*0.5m)/7.10		
(単位重量=10.4kg/m×2m=20.8kg) 矢板 H=2.0m	単位重量 両面 枚/m 4.4 * 20.8 * 2 * 4	732.2	kg
A: 重量	日進 (不断水施工は、2箇所/日とする) 4.9m = (5m/日*7.5m+7m/日*1.0m+3.2m/日*1.6m)/10.10		
(単位重量=10.4kg/m×2.5m=26.0kg) 矢板 H=2.5m	単位重量 両面 枚/m 4.9 * 26.0 * 2 * 4	1,019.2	kg
a: 供用日数			
矢板 H=2.0m	5 + 3 + 4	12	日
矢板 H=2.5m	5 + 4 + 4	13	日
m: 賃貸費	2026年6月 建物 P810 円/t・日 2026年6月 積資 P286 円/t・日		円
C: 1現場当り整備費	2026年6月 建物 P810 円/t 2026年6月 積資 P286 円/t		円
K: 補正率 (H=2.0m)	転用回数 1/2 *(3 + 1)	2.0	
K: 補正率 (H=2.5m)	転用回数 1/2 *(4 + 1)	2.5	
F: 軽量鋼矢板賃料 (H=2.0m)	m a C K A (* 12 + * 2.0) * 0.7322		円
F: 軽量鋼矢板賃料 (H=2.5m)	m a C K A (* 13 + * 2.5) * 1.0192		円
			円
アルミ腹起し 長4000 (37.2kg/本) m: 市場単価	2026年6月 建物 P819 円/本・日 2026年6月 積資 P297 円/本・日		F1002 円
C: 基本料	2026年6月 建物 P819 円/本 2026年6月 積資 P297 円/本		F1003 円
a: 供用日数	(7.10 + 10.10) ÷ 4.00 + 5 + 4	14	日
F: アルミ腹起し 長4000	m a 本 C 本 * 14 * 2 + * 2		円
			円

矢板計算書

水圧サポート調整長590～900 m:市場単価	2026年6月 建物 2026年6月 積資	P819 P297	円/本・日 円/本・日		円
C:基本料	2026年6月 建物 2026年6月 積資	P819 P297	円/本 円/本		円
水圧サポート調整長1500～2200 m:市場単価	2026年6月 建物 2026年6月 積資	P819 P297	円/本・日 円/本・日		円
C:基本料	2026年6月 建物 2026年6月 積資	P819 P297	円/本 円/本		F1009 円
(6.2kg/本) F:水圧サポート 590～900	m a 本 * 13 * 2 +	C 本 * 2			円
(21.6kg/本) F:水圧サポート 1500～2200	m a 本 * 10 * 2 +	C 本 * 2			円
					円
水圧ポンプ 15～19ℓ (12.3kg/本) m:市場単価	2026年6月 建物 2026年6月 積資	P819 P297	円/本・日 円/本・日		円
C:基本料	2026年6月 建物 2026年6月 積資	P819 P297	円/本 円/本		F1011 円
	m a 本 * 14 * 2 +	C 本 * 2			円
		合計			円
※ 各重量	矢板 h=2.0m			732.2	kg
	矢板 h=2.5m			1,019.2	kg
	腹起し材 L=4.0m×2本 (37.2kg×2本)			74.4	kg
	水圧サポート 590～ (6.2kg×2本)			12.4	kg
	水圧サポート 1500～ (21.6kg×2本)			43.2	kg
	水圧ポンプ : 12.3kg×2本			24.6	kg
	計			1.906	t
仮設材運搬					
仮設材等の積込み・取卸し				1.906	t

仕 様 書

第 1 章 総 則

第 1 条 (目 的)

この仕様書は、加東市が行う配管工事の施工の適正を期するため、監督員及び受注者が遵守しなければならない工事の仕様を示すことを目的とする。

第 2 条 (適 用)

この仕様書は、令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 老朽配水管布設替工事 (高区系統第6工区)の施工に適用する。

第 3 条 (用語の定義)

次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

1. 監督員 市長に代わって工事の施工を指示監督する職員のこと。
2. 指 示 監督員が受注者に工事の施工に関する方針、基準、計画等を示し実施させること。
3. 承 認 受注者が監督員に報告し、監督員が了解すること。
4. 協 議 監督員と受注者が協議すること。
5. 立会い 受注者が監督員に申し出て、監督員が現場に臨むこと。

第 4 条 (施工計画)

受注者は契約締結後、次の各号の手続を行うこと。

1. 工事着手は契約締結日の翌日とし、工事施工計画及び下請人等通知書、主任技術者等経歴書、請負代金内訳書、工程表を監督員に提出すること。なお、現場代理人と主任技術者は兼ねることができる。
2. 受注者は、工事着手前（契約書に定める工事着手日以降 30 日以内）に施工計画書を監督員に提出すること。
3. 工程表その他を変更するときは、その都度監督員に届け出て、監督員の指示に従うこと。
4. 工程会議議事録は、受注者が作成し速やかに監督員に届けること。

第 5 条 (受注者の負担)

受注者は、次の各号に要する軽微な費用について負担しなければならない。

1. 軽易な事項で設計図書又は本仕様書に明記していないことでも、施工上あるいは、使用上欠くことのできない材料及び作業の費用。
2. 施工上障害となる地下、地上の物件の取り除き、原形復旧又は保護設備の設置、工事により生じた不用物品の跡片付けに要する費用。
3. 各種試験検査及び工事写真、完成図面の作成等に要する費用。
4. 設計図に明示されなくとも必要な仮橋、仮道、仮水路、交通標識及び防災保安上必要な仮設備の設置並びに原形復旧に要する費用。
5. 道路で施工中の交通整理費及び道路維持に要する費用。
6. 工事用電力及び水道設備の設置費、撤去費並びに使用料金。
7. その他、受注者の責めに帰する事項に要する費用。

第 6 条 (使用材料)

1. 使用材料は、加東市の支給する材料を除き受注者が調達すること。なお、支給材料は所定の場所に運搬保管し、残品は監督員の指示する場所に返納すること。

2. 受注者は、支給材料及び貸与品を慎重に取り扱い、破損や紛失したときは、監督員の指示に従い補修または賠償しなければならない。ただし、賠償の場合は現物弁償を原則とする。
3. 受注者が調達する配管材で上水道規格品については、日本水道協会検査員の検収済材料を使用すること。特殊製品については、性能立会検査を行い合格したものを使用する。また、管材料を工事に使用するときは、その都度、種類、員数、規格、品質等について、日本水道協会発行の検査済証を提出し、監督員の承認を受けること。
4. 使用材料の適用規格は次の規格とする。

J I S	J W W A	J E M	J E C	J C S
電気用品安全法	その他関係諸規格			

第 7 条 (工事現場管理)

1. 受注者は、現場代理人を工事現場に常駐させ、工事に関する一切の事項（労働関係法規、道路交通関係法規、公害防止関係法規、危険物取扱関係法規、電気設備技術基準、内線工事基準、土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課、令和 7 年 3 月）、消防法、その他工事施工上必要な法規）を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、諸法規の運用は、受注者の負担と責任において行われなければならない。
2. 受注者は、一般通行人が見やすい場所に工事名、工期、事業主体名、受注者の住所氏名並びに現場代理人の氏名を記入した大型の標示板を設置すること。特に道路に関する工事を行うときは、道路管理者、監督員及び所轄警察署と協議し、道路標識令、道路工事現場における標示施設等の設置基準（国道利第 3 7 号国道国防発 2 0 5 号改正、平成 1 8 年 3 月）及びその他の基準に基づき、柵、道路標識、危険標識、夜間赤色注意灯等を設置し、安全交通に必要な万全の処置を講じなければならない。
3. 受注者は監督員の指示により、作業方法、材料機器の搬入、盗難、火災予防の警備方法等について概略説明書を提出し、承認を得ること。
4. 受注者は監督員の指示により、工事施工によって生じた現場発生品を集積し、搬出し、場内を清潔にするとともに、適切な防火、防災対策を講じなければならない。
5. 受注者は、工事中又は引渡し完了までの仮設備、材料並びに機器の盗難、火災、破損等の被害に備え十分に警備をすること。
6. 受注者は、工事現場が隣接し又は同一場所において別途工事がある場合は、常に相互協調して紛争を起こさないよう処置しなければならない。
7. 受注者は、工事施工中、監督員の許可なく流水及び水陸交通の妨害となる行為又は公衆に迷惑を及ぼす施工等をしてはならない。
8. 受注者は、市街地における工事は、建設工事公衆災害防止対策要綱（土木工事編）（国土交通省 令和元年 9 月）に準拠して災害の防止に努めなければならない。
9. 豪雨、出水、その他天災に対しては、平素から気象予報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる準備をしておかなければならない。
10. 火薬、ガソリン、電気等の危険物を使用する場合には、その保管及び取扱いに

ついて、関係法令の定めるところに従い、万全の方策を講じなければならない。
なお、火薬類を使用し工事を施工するときは、あらかじめ監督員の承認を得ること。

- 1 1. 工事施工について住民の生活、営業に支障を及ぼすおそれがあるときは、近隣住民と協議の上、支障のないように工法及び使用機器を検討し、監督員の承認を得て施工すること。
- 1 2. 受注者は、工事の施工に影響を及ぼす事故、人命に損傷を生じた事故、又は第三者に損害を与えた事故が発生したときは、遅滞なくその状況を監督員に報告しなければならない。なお、危険防止の設備を怠って生じた事故に対しては、受注者の責任で処置すること。
- 1 3. 受注者は、工事用運搬路として道路を使用するときは、常に良好な状態に保持するよう努めなければならない。
- 1 4. 受注者は工事施工に際し、現場代理人にそれぞれの身分を明示した腕章を着用させること。

第 8 条 (既設物の保護)

1. 工事の施工に支障を及ぼす地上、地下の既設物等は、監督員の承認を得て丁寧に取り除き、又は保護を施し、工事の進捗にともない速やかに原形復旧すること。
2. 詳細が不明な既設埋設管（ガス管、水道管、下水道管、電気ケーブル、電話ケーブル等）に対しては試験掘を行い、埋設管の位置及び深さを確認の上、必要に応じて保護工等を施すこと。なお、試験掘に先立ち関係機関等に立会いを求め、立会者から指示があった場合はこれに従うこと。また、ガス管付近の掘削を行う場合は、ガス漏等の有無を確認すること。

第 9 条 (官公庁及び関係機関への手続)

1. 受注者は、工事施工のため必要な官公庁及び関係機関に対する諸手続（交通制限許可申請書、道路使用許可申請書、仮設物設置許可申請書、移転、移設物申請書並びに各種使用届等必要な書類一式の作成）を行って許可を得るものとし、書類の様式については監督員の指示を受けること。
2. 道路管理者に提出する着工届、完工届は監督員の指示により受注者が作成し、道路等掘削埋戻土の使用、転圧、工事中の状況、舗装復旧及び工事完成の状況がわかる写真を添付すること。
3. 受注者は、関係官公庁その他に対して交渉を要するとき又は交渉を受けたときは、遅滞なくその旨を監督員に申し出て協議すること。

第 10 条 (作業時間)

1. 工事の作業時間は、各種規定、許可及び監督員の指示による。ただし、緊急を要する場合は、監督員と協議の上、承認を得て延長すること。
2. 工事施工中、監督員から作業時間の延長又は夜間作業を指示された場合、受注者はこれに応じなければならない。

第 11 条 (工事の変更及び中止)

1. 監督員が必要と認める場合は、工事の内容を変更し、若しくは一時中止を指示する。
2. 受注者は、工事に支障を及ぼす天候、その他正当な理由により工期内に工事を

完成することができないときは、その理由を付して工期の延長を求めることができる。

第12条（施工管理）

1. 受注者は、兵庫県土木工事施工管理基準などを用いて施工管理を行い、その記録を監督員に提出しなければならない。
2. 受注者は監督員の指示により、必要事項を記入した監督日誌を指示のあった日の翌日までに提出しなければならない。

第13条（施工検査）

1. 受注者は、監督員が指示した主要な工事及び工事完成検査の困難な工事については、施工順序に従って、段階ごとに検査員の検査を受けて合格した後、次の施工に着手しなければならない。
2. 支持力検査、材料検査等の諸検査は、原則として監督員立会いで受注者が行い、その結果表をすみやかに監督員に提出し、承認を受けなければならない。
3. 検査に合格した材料でも、使用前又は使用中に不良を発見したときは、監督員の指示により処置すること。

第14条（提出書類）

受注者は、次の関係書類を監督員に提出しなければならない。

1. 工事写真

- (1) 工事写真を整理編集し、監督員が随時点検できるようにするとともに、工事完成の際に提出する。
- (2) 撮影は次のものと、監督員が特に指示するものとする。
 - ア 着工前の敷地の状況及び隣接建物の状況。
 - イ 工事中、工事の進捗状況並びに工場製作のものは製作の進行状況。
 - ウ 工事完成写真、内外主要箇所。
 - エ 管类等埋設深度、位置及び埋設状況を示すもの。（約100m間隔に撮影現場を示す対象物を入れたもの。）

2. 工事完成図面（製本A1）

工事完成図面を作成し、工事完成届に添えて1部提出する。また、前記のCADデータ（SXF形式）も併せて提出すること。

第15条（仕様の疑義）

工事施工にあたり図面と現場との状態が一致しないとき又は予期することのできない状態を発見したときは、遅滞なく監督員に知らせ指示を受けること。なお、処理については協議により決定する。

第16条（検査）

1. 工事完成検査は、工事目的物が設計図書に適合しているかを検査員が確認するものとし、これに合格しないときは、遅滞なく補修又は改造をして、再度検査員の検査を受けること。
2. 官公庁及び電力会社等の検査を受ける必要があるときは、受注者がすべての手続を代行するものとし、あらかじめ監督員の承認を受けること。

第17条（特許権等の使用）

受注者は、工事施工にあたり特許権、その他第三者の権利対象となる機器、施工方法等を使用するときは、その使用に関する全ての責任を負うこと。

第18条（契約不適合責任）

工事完成検査後の契約不適合責任は、契約書によるものとし、道路不陸、漏水（通水後）、その他は1箇年、主要構造物、機器等は2箇年とする。

第19条（跡片付け）

受注者は、工事が完成したときは、跡埋め、跡片付け及び清掃等を工事期間内に完了しなければならない。

第20条（その他）

1. 本特記仕様書および土木請負工事必携・土木工事共通仕様書・土木工事施工管理基準に記載のない事項及び疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。
2. 完成図書は、監督員の指定するイージーキャビネットに入れて提出すること。

第21条（週休2日制度）

1. 本工事は原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板に明記すること。（受注者は契約後、週休2日を反映した施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し施工計画を作成するなどの取り組みを行う。
2. 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は1ヶ月あたり2日を上限として土曜・日曜の現場閉所日を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休2日（同一週内での週休2日）または月単位の週休2日が認められる状態になるよう振り替えること。
3. 毎月、監督員に翌月の現場閉所日を記載した「休日取得計画」を提出すること。
4. 現場閉所日の振替を行う場合、工事打合簿により、その理由と振り替える日を事前に監督員に連絡すること。
5. 毎月、監督員に前月の現場閉所の状況を「休日取得実績報告書」により報告すること。
6. 現場稼働中の工期〔工事着手前（現場測量等）、年末年始休暇6日間、夏期休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休2日（完全週休2日（土日）または月単位の週休2日）の達成状況（平日振替日を含む）の確認のため受注者は「工事履行報告書」を提出すること。
7. 労務費等の補正については当初予定価格に完全週休2日（土日）を達成した場合の補正係数を各経費に乗じている。なお、現場閉所の達成状況が完全週休2日（土日）に満たないものは、月単位の週休2日の補正係数に変更し、請負代金を減額変更する。また、月単位の週休2日に満たないものは完全週休2日の補正係数を除し請負代金を減額変更する。
8. 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内勤業務や他の現場に従事することを制限しない。ただし専任のものである場合、他の現場に従事しないこと。
9. 受注者は週休2日制度から週休2日制度（交代制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上変更することができる。ただし工事着手後の変更は

認めない。

10. 下請け企業に対し週休2日の取り組みにあたり必要な事項について協力を求めること。

《週休2日制度の達成状況》

現場閉所日数（平日振替日を含む）を現場稼働中の土曜・日曜の全日数で除し小数点以下を四捨五入する。

〈労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正〉

	補正係数	
	土日現場閉所	
	完全週休2日	月単位
労務費	1.02	1.02
機械経費（賃料）	-	-
共通仮設費率	1.02	1.01
現場管理費率	1.03	1.02

第2章 管布設工

第1条（適用）

管布設工は、（公社）日本水道協会発行の水道施設設計指針2024と本仕様書により施工すること。

第2条（配水管の明示）

1. 配水管の明示は、以下の方法で施工すること。
2. ビニールシートを管上30cmに埋設する。
3. ビニールテープ（粘着剤付）を管に一回半巻きする。
4. 巻付け方法
 - （1）管長4メートル以下 3箇所／本 管の両端から15～20cm及び中間に1箇所。
 - （2）管長5～6メートル 4箇所／本 管の両端から15～20cm及び中間に2箇所。
 - （3）特殊管で（1）（2）に該当しない場合はテープの間隔が2メートル以上にならないようにすること。
 - （4）異形管の場合は受口、サシ口部の端から20cmの所に巻付けること。
5. 弁栓類部分については明示しない。
6. 明示に使用するビニールテープ及びビニールシートについては監督員の指示するものを使用すること。

第3条（配管工）

管の接合に従事する配管工は、（公社）日水協兵庫支部に定める試験に合格した配管工でなければならない。ただし、監督員が特に認めたものについてはこの限りではない。

第4条（材料検査）

受注者は、調達管材の検査済証（日本水道協会の発行したもの）を材料使用承認願に添付して提出し、監督員の承認を受けること。

仮設配管工事で使用する配管材料については、水道施設の技術的基準を定める省

令（平成12年2月23日厚生省令第15号、以下施設基準という。）第1条第17項イ、ロ及びハの要件を備えるものを使用すること。

第 5 条（掘削）

1. 掘削にあたっては、あらかじめ保安設備、土留、排水、覆工、残土処理、その他の必要な準備を整えた上で着手すること。
2. アスファルトコンクリート舗装、コンクリート舗装の切断は、舗装切断機等を使用して切口を直線に施工すること。また、取壊しに当たっては、在来舗装部分が粗雑にならないように行うこと。
3. 舗装切断を施工する場合は、保安設備、保安要員等を適切に配置し、交通上の安全を確保すること。
4. 掘削は、掘削期間を極力短縮するため、その方法、位置を充分検討して行うこと。
5. 同時に掘削する区域及び一開口部の延長をあらかじめ監督員に報告すること。
6. 機械掘削を行う場合は、施工区域全般にわたり地上及び地下の施設に充分注意すること。
7. 床付け及び接合部の掘削は、配管及び接合作業が完全にできるよう所定の形状に仕上げること。なお、えぐり掘り等はしないこと。
8. 床付面に岩石、コンクリート塊等の支障物が出た場合は、床付面より10cm以上取り除き、砂等に置き換えること。
9. 湧水のある箇所の掘削については、土留、排水等を適切に行うこと。

第 6 条（埋戻・復旧）

1. 管の埋戻しは、厚さ20cm毎に締固機で十分締め固め、復旧するとともに、軟弱地盤又は湧水地帯にあっては、湧水及び溜水を排除しながら埋め戻しを行うこと。
2. 工事のための交通制限に起因して掘削箇所以外の道路が損傷した場合は、監督員の指示により直ちに復旧すること。

第 7 条（弁栓鉄蓋等の据付）

仕切弁、空気弁、消火栓等の鉄蓋は、管方向又は流末方向に文字を直角に据付けるものとする。

ドレン部仕切弁の鉄蓋は、排泥弁と明記すること。

第3章 管の接合

第 1 条（管の据付）

管の据付けは、監督員の指示に従い鑄出文字を上向に、その方向にならい中心を一致させ、さし口を受口に充分はめ込むものとする。

第 2 条（メカニカルジョイント）

メカニカルジョイントによって接合する場合は、次の順序により接合するものとする。

1. さし口端から20cmの間の外面及び受口内面に付冠している油、砂、その他の異物を完全に除去すること。
2. 次にこの部分にメーカー指定の滑剤をぬる。

3. さし口を受口内に押し入れる。
4. つづいてゴム輪に滑剤をぬり、さし口にはめる。
5. さし口を受口内に押し入れる。
6. ゴム輪を受口内へ片寄らないように押入れる。
7. 押輪を固定し、ボルトを入れナットで固く締め付ける。
この際、スパナ又はラチェットレンチでまず下のナットを締め次に横の片方という順序で交互に締め押輪面と受口面との間隔がどこまでも等間隔となるよう締め、一気に締め上げずに根気よく（5～6回にわたりゴム輪が均等に入るよう注意しながら）全体を徐々に締め付けていき最後に規定のトルクまで締め付けなければならない。
8. 完全なる接合ができない場合には、無限に締め付けずに一度とりはずしてやりなおすものとする。
9. 規定のトルクまで締め付けが終わった後、全部のナットが規定のトルクに達しているかどうかを改めて順次確認すること。

第 3 条（フランジ接合）

フランジ継手によって接合する場合は、次の方法によるものとする。

1. 接合部分の錆び、コブ等がある場合はこれをけずり油、砂、その他の異物を完全に取り除く。
2. ゴムガスケットは充分の大きさのものをうい油、砂、その他の異物を完全に取り除くものとする。
3. ゴムガスケットを定位置にはさみボルトを入れナットを締め付ける。なお、フランジの間隔がいずれの部分においても等間隔になるよう締め付けるものとする。

第 4 条（硬質塩化ビニール管）

T S 接合

- （1）水道用硬質塩化ビニール管の接続は、すべて T・S 工法（冷間接続法）により、切断は、管軸に対して直角方向とし、目の細い鋸で切断し切屑や返りをのぞくため内外面の面取りをするものとする。
- （2）継手の受口内面とパイプを差し込む外面を乾いたウエスで清浄にし、ごみや油が付着しているときは、完全に取り除くものとする。
- （3）接着剤を塗る前にパイプをかるく継手の中に挿入しパイプの挿入深度を確認したのち引抜いて継手の内面全体と差しこみ部（φ75mmの場合 72mm, φ100mmの場合は92mm, φ150mmの場合は140mmの割合）に薄く均一に塗るものとする。
- （4）接着剤を塗り終わるとすばやく差し込み規定の深さまで挿入した後、そのままの状態ですばやく10～20秒間保持し、はみ出した接着剤はすぐふきとるものとする。

第 5 条（GX形ダクタイル鋳鉄管）

1. 管の据付
管のメーカーマークを上にして、管を所定の位置に静かに吊り下ろす。
2. 管の清掃
受口溝の異物を取り除き、挿し口外面の端面から約30cmの間及び受口内面に付着

している油、砂、滑剤、その他の異物をきれいに取り除くこと。また、ゴム輪の当たり面に付着した水もふき取ること。

3. ロックリング及びロックリングホルダの確認

ロックリング及びロックリングホルダはあらかじめセットされている。所定の受口溝にロックリング及びロックリングホルダが正常な状態にあるか目視及び手で触って確認する。

4. ゴム輪のセット

(1) ゴム輪の表示がG X形用であること及び呼び径を必ず確認する。

(2) ゴム輪を清掃し、ヒール部を手前にして受口内面におさめる。その後、ヒール部と受口の間に隙間ができないようゴム輪を上部に寄せる。その後、へこみを手やプラスチックハンマなどで押しながら受口内面の所定の位置に装着する。

(3) ゴム輪装着後プラスチックハンマでゴム輪を受口内面になじませるようにたたく。さらに、ゴム輪内面を指で触り、部分的な浮き上がりが無いことを確認する。

5. 滑剤の塗布

(1) 滑剤は、ダクティル鉄管継手用滑剤を使用する。

(2) ゴム輪の内面テーパ部及び挿し口外面に滑剤をムラなく塗布する。

第 6 条 (水道用ポリエチレン二層管)

1. 冷間接合 A形

(1) 管の端面を肉厚の1/3程度面取りする。

(2) 袋ナットを胴からはずれない範囲でいっぱいに加締め、インコアを管に挿入する。

(3) 管の端面部付近の外面を水でぬらし、管端が胴のストッパーに当たるまで挿入し、袋ナットを十分に手で締め付ける。

(4) パイプレンチ2個を使い、袋ナットを2回転だけ締め付ける。

2. 冷間接合 B形

(1) 管端を直角に切り揃える。

(2) 継手を分解し、管に袋ナット、リングの順に移し、インコアを管に木槌等で叩きこむ。

(3) セットされた管端を胴に挿入し、リングを押し込みながら袋ナットを本体ねじに十分に手で締め付ける。

(4) パイプレンチ2個を使って十分に締め付ける

第 7 条 (サドル分水栓)

1. サドル分水栓建込は水圧試験合格後に行うこと。

2. サドル分水栓に接合する給水管は、既設給水管 (P E 管) と内外径 (J I S 規格) が同じものを使用すること。

第4章 特記事項

第1条 (総 則)

本工事の施工に当たっては、設計図書によるほか、「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「土木請負工事必携」、「小型構造物標準図集」（全て兵庫県土木部）、本仕様書によらなければならない。

第2条 (工事概要)

本工事は、加東市山国地内ほかの老朽化した管路を更新することを目的とする。

第3条 (工事範囲)

本工事は、配水管の布設、既設配水管の撤去、仕切弁、空気弁及び消火栓の設置を行うものである。

第4条 (管布設工事)

本工事場所において、地下埋設物が隣接している箇所では十分な事前調査（試掘調査など）を行い、工事に着手すること。

第5条 (建設副産物の搬出)

本工事から発生する特定建設廃棄物のうち、As 殻は、大林道路（株）東条アスファルト混合所（加東市天神1228-39: 運搬距離 L=6.6km）への搬出を見込んでいる。
ただし、上記施設に関する所在地は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。また、運搬に先立ち受入条件などを確認し、監督員に報告すること。

第6条 (建設発生土の搬出)

本工事の建設発生土（土砂）は、（株）池安（加東市久米1017-7: 運搬距離 L=1.0km）への搬出を見込んでいる。

ただし、上記施設に関する所在地は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。また、運搬に先立ち受入条件などを確認し、監督員に報告すること。

なお、加東市が行う他工事に流用するため、監督員から搬出先の指示があった場合はこれに従うものとし、設計変更の対象とする。

第7条 (舗装の切断作業に伴い発生する濁水等の適正処理)

(1) 濁水等の適正処理

舗装の切断作業に伴い発生する濁水等は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、下表の分類により、適正に処理すること。

表 産業廃棄物の分類

区分 \ 工法	濁水が生じる工法(温式)	濁水が生じない工法 (空冷式 等)
排出形態	濁水※1	粉体
産業廃棄物の 分類	「汚泥」、含まれる成分によっては、「汚泥十廃アルカリ混合物」 (※1乾燥させた場合も同様)	「がれき類」※2 (※2政令市等[神戸・尼崎・西宮・明石・姫路]以外における取扱い。政令市等における分類は異なる場合があるため、別途当該市の環境部局に確認のこと)

(2) 濁水が生じる工法での処理方法等

濁水が生じる工法(湿式)を採用する場合は、産業廃棄物の「汚泥」または「汚泥+廃アルカリ混合物」として適正に処理すること。収集・運搬・処理方法は下記～③のとおりとする。

① 収集方法

以下の収集方法等により、直接現場外に排水することなく、適正に収集すること。なお、これらの方法は指定ではなく、各現場にて適正に収集することが可能な方法で収集すること。

＜収集方法(例)＞

- ・濁水を収集する機能を有するカッター機械(バキューム式)による収集
- ・工事用掃除機による収集
- ・濁水をスポンジ等で吸着させバケツ等に移し替えて収集 等

② 運搬方法

収集した濁水は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の運搬の基準に従い、適正に処理すること。

③ 処理方法

収集した濁水は、産業廃棄物の「汚泥」として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に某つき適正に処理すること。

なお、収集した濁水に含まれる成分によっては、産業廃棄物の「廃アルカリ」との混合物に分類される可能性があるため、処理の際には十分注意すること。また、pH12.5以上の場合は「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となるので十分注意すること。

「廃アルカリ」や「特別管理産業廃棄物」としての処理が必要となった場合には、その処理方法を監督員と協議の上、適正に処理するものとし、その際に必要となる経費については、設計変更の対象とする。

(3) 濁水が生じない工法での処理方法等

濁水が生じない工法(空冷式等)を採用する場合は、収集にあたり吸引装置を併用するなど、粉塵の飛散防止対策を行うとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物の「がれき類」として適正に処理すること。

(4) 当初設計における濁水処理費

当初設計においては、濁水処理費を以下のとおり計上している。濁水量は実施数量(マニフェストで確認)に応じて設計変更を行う。

- ① 濁水量 1.91t (8,000円/t)
- ② 運搬費 普通トラック(2)t 運搬
- ③ 処理施設

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所在地	受入等諸条件	その他
「汚泥」	(株)タケベ	15.4 km	兵庫県西脇市上比延町41-1	土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に記載の当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表は、積算参与条件を明示しているものであり、受人施設を指定するものでは

ない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受人困難となった場合は、設計変更を行う。

この他、工事発注後に明らかになった事情により、当初想定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議の上、必要に応じて設計変更を行う。

第 8 条（交通誘導員の配置）

本工事の施工に際しては、交通誘導員 B を 204 人計上しており、配置場所等については監督員と協議するものとする。なお、作業中は通行止め及び片側交互通行を予定している。

交通誘導員 A：警備業者の警備員（警備業法第 2 条第 4 項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導員警備業務（警備員等の検定等に関する規則第 1 条第 4 号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員

交通誘導員 B：警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの

第 9 条（その他）

1. 設計図書に記載なきもの及び不明確な事項については、監督員と協議を行い、指示により施工すること。
2. 工事用標示板（工事中）について工事看板は下図を標準とするが、図案が完成した際、事前に監督員に確認を取り了承を得てから作成し、設置すること。また旧タイプの工事看板は使用しないこと。

○ ○ 管 工 事 中	
○○○○○工事	
区間	加東市 ○○ 地内
期間	○年○月○日～○年○月○日
施工	△△△△株式会社
	TEL ○○○○-○○-○○○○
	
加東 づどう 伝 の 助 でんのすけ	
発注者	加東市上下水道部工務課
	TEL 0795-43-0534

3. 週休2日制度対象工事を明記する工事看板について

工事看板例として（下図）を添付するので、図案が完成した際、事前に監督員に確認を取り了承を得てから作成し、設置すること。



休日取得計画書

(あて先)総括監督員

工事名: _____

受注者: _____

月

提出日 令和 年 月 日

日	曜日	休日取得 計画	備 考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
合 計			

(注)

- 下記の期間は週休2日の対象期間から除く(備考欄に「対象期間外」と記載する)
年末年始休暇期間、夏季休暇期間、一時中止期間、工場製作期間
- 月末までに翌月の計画書を総括監督員に提出する

休日取得実績報告書

(あて先)総括監督員

工事名: _____
受注者: _____

月		提出日 令和 年 月 日			
日	曜日	休日取得 計画	休日取得 実績	備 考	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
合 計					

(注)
1 休日取得計画欄には前回提出した休日取得計画日に「○」を記入する
2 休日取得実績欄には実際に休日を取得した日に「○」を記入する
3 下記の期間は週休2日の対象期間から除く（備考欄に「対象期間外」と記載する）
年末年始休暇期間、夏季休暇期間、一時中止期間、工場製作期間
4 休日を振替えた場合は、備考欄に「○日の振替日」と記載する

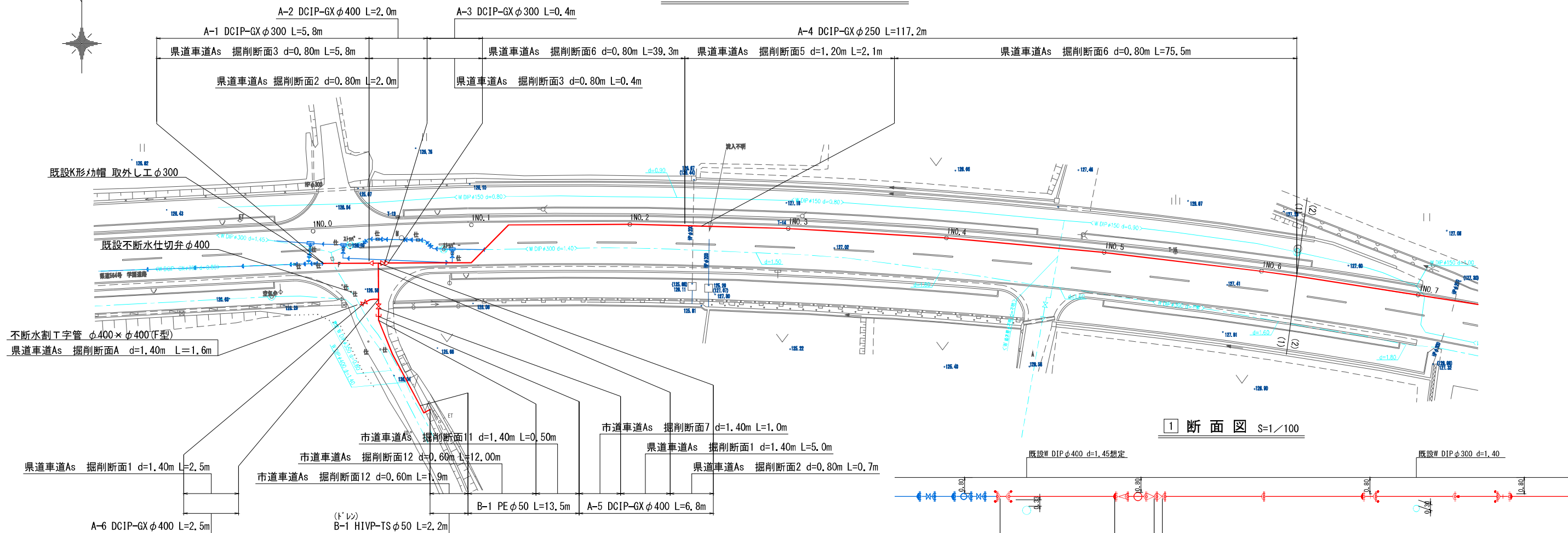
位置図 S=1/5000



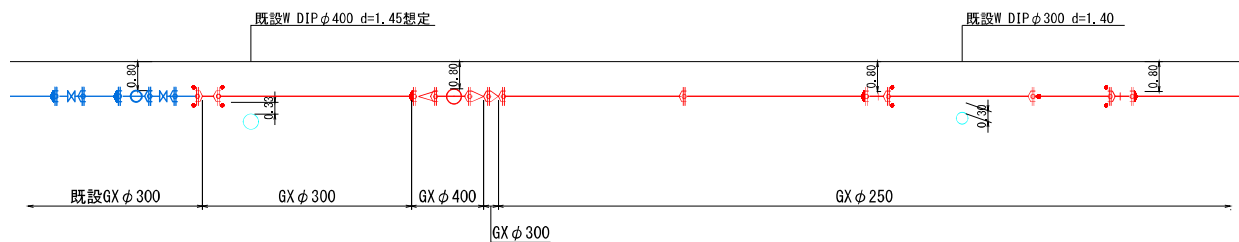
凡 例	
	施工範囲

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業	
老朽配水管布設替工事(高区系統第6工区)	
加東市 山国地内ほか	
位置図	1 / 全
縮尺 1/5000	12
加 東 市	

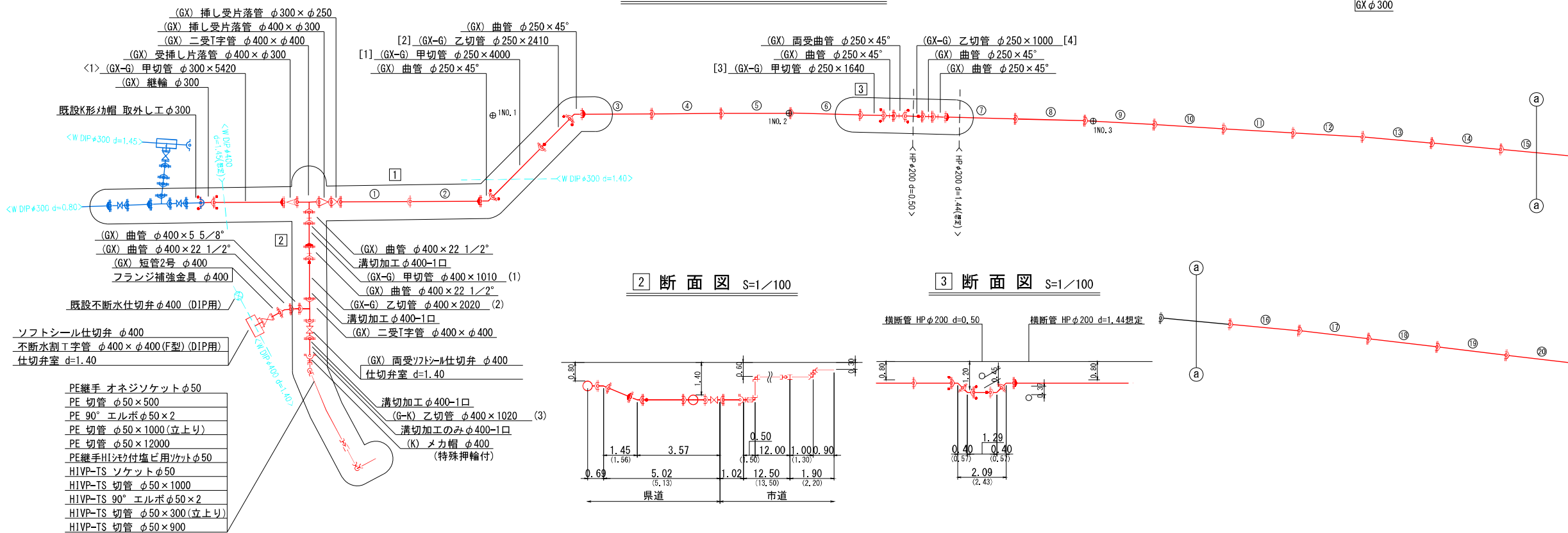
本設配管平面図(1) S=1/250



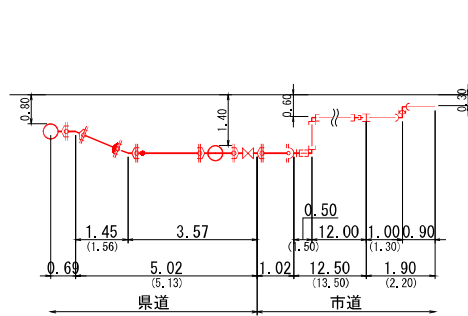
1 断面図 S=1/100



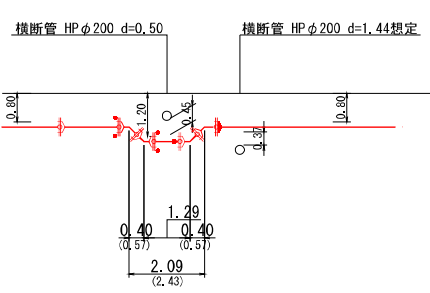
本設配管詳細図(1) S=NON



2 断面図 S=1/100



3 断面図 S=1/100

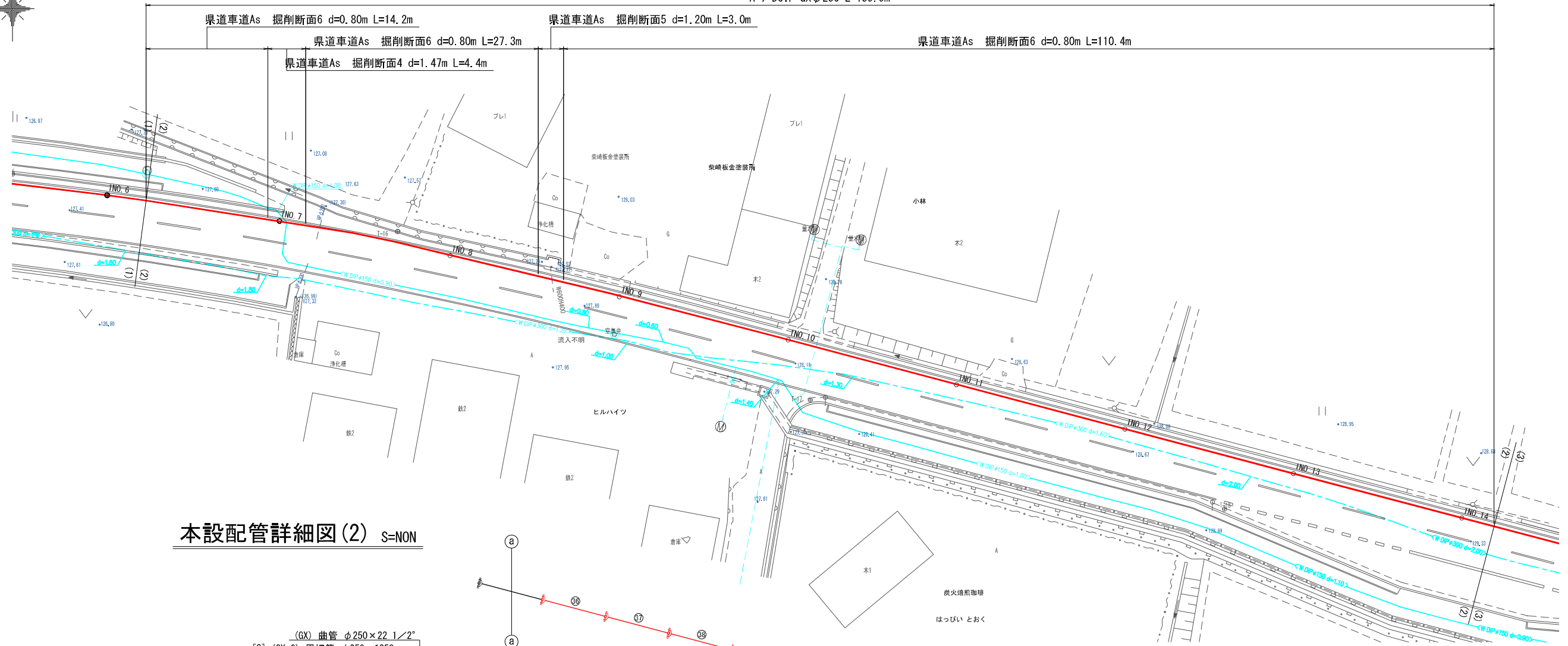


凡 例	
	GXライン無
	GXライン有
	G-Link
	挿し口突起あり

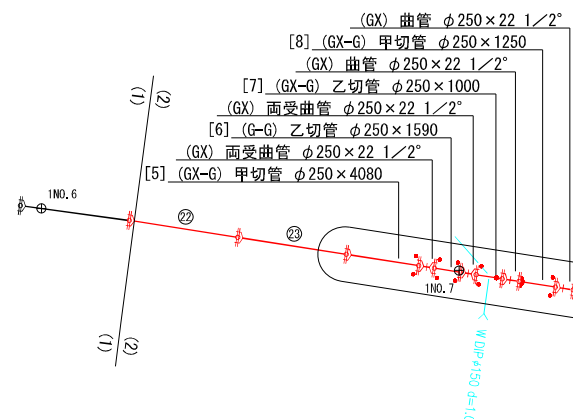
令和8年度 社会資本整備総合交付金事業	
老朽配水管布設替工事(高区系統第6工区)	
加東市 山国地内ほか	
本設配管平面図(1)	2 / 全
本設配管詳細図(1)	
縮尺 1/250	12
加 東 市	

本設配管平面図(2) S=1/250

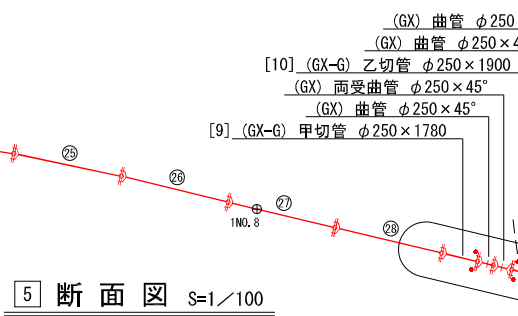
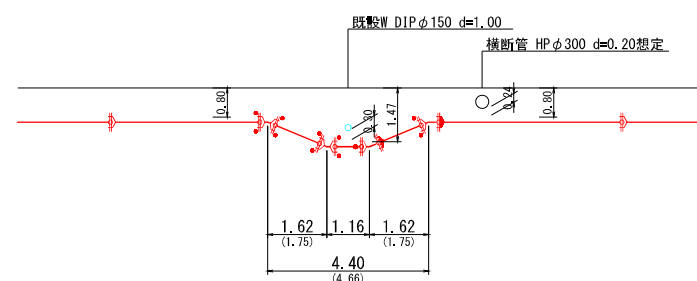
A-7 DCIP-GXφ250 L=159.9m



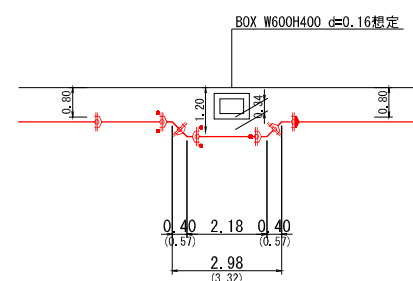
本設配管詳細図(2) S=NON



4 断面図 S=1/100

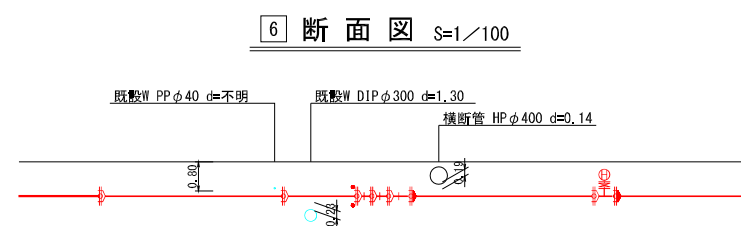
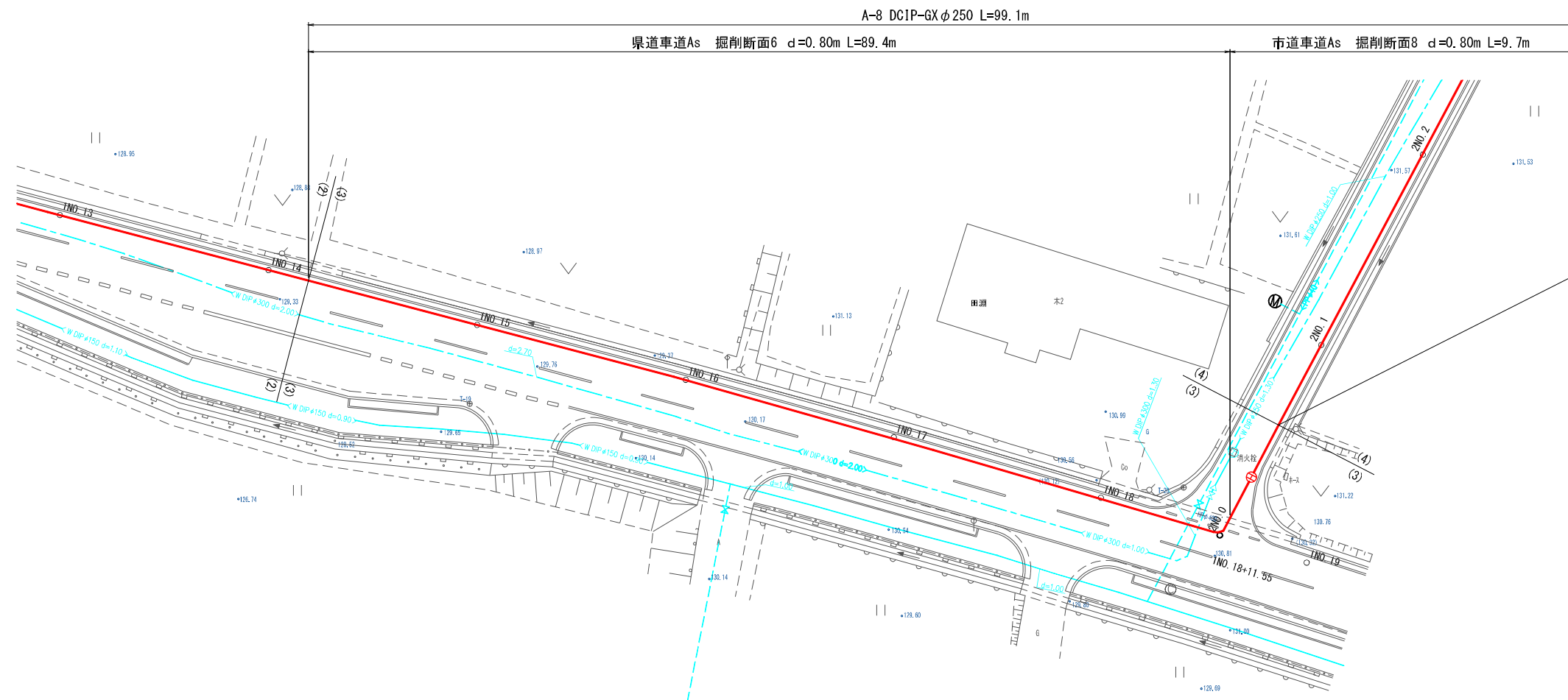


5 断面図 S=1/100

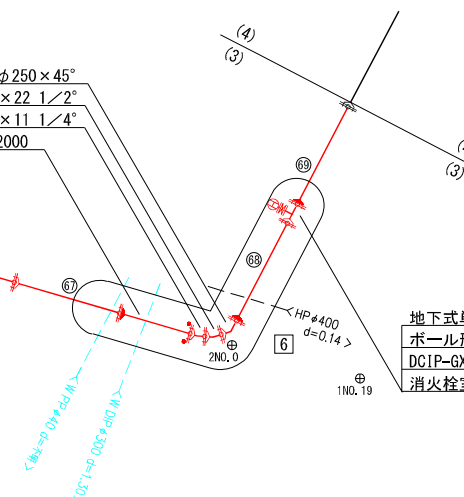


凡 例	
	GXラインナ
	GXライン有
	G-Link
	挿し口突起あり

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業	
老朽配水管布替工事(高区系統第6工区)	
加東市 山国地内ほか	
本設配管平面図(2)	3 業
本設配管詳細図(2)	12 全
縮尺 1/250	
加 東 市	



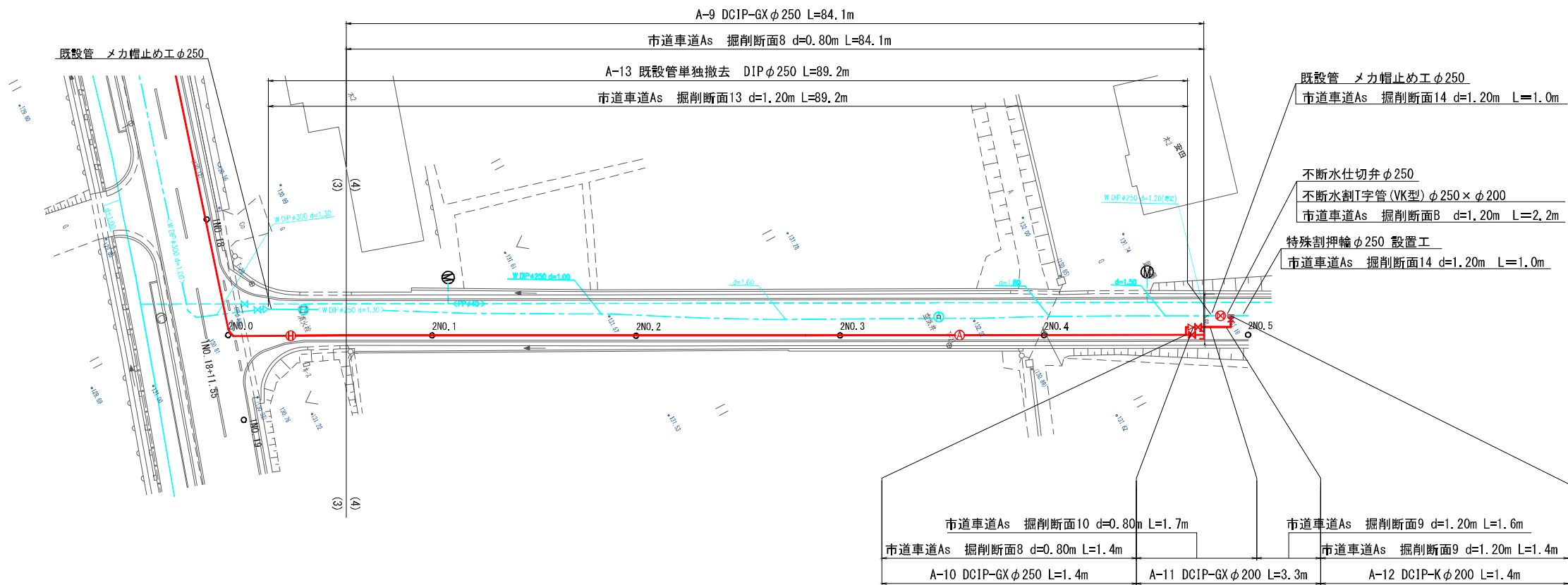
(GX) 曲管 $\phi 250 \times 45^\circ$
 (GX) 曲管 $\phi 250 \times 22 \ 1/2^\circ$
 (GX) 曲管 $\phi 250 \times 11 \ 1/4^\circ$
 [11] (GX-G) 甲切管 $\phi 250 \times 2000$



- 凡 例
- | | |
|---|---------|
|  | GXライナ無 |
|  | GXライナ有 |
|  | G-Link |
|  | 挿し口突起あり |

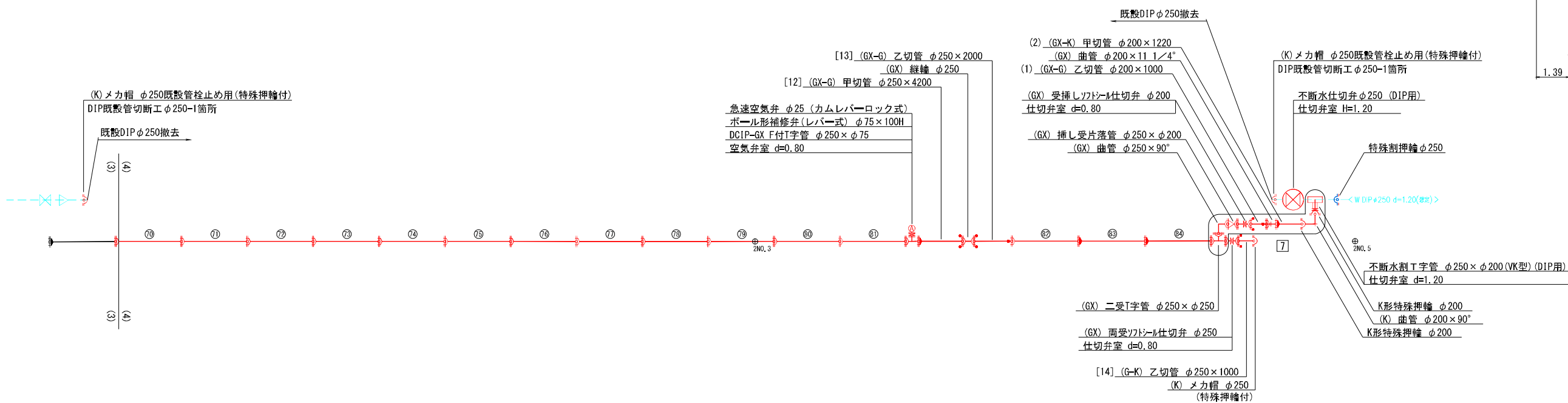
令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
老朽配水管布設替工事(高区系統第6工区)		
加東市 山国地内ほか		
本設配管平面図(3)	4	業 全
本設配管詳細図(3)	12	
縮尺 1/250		
加 東 市		

本設配管平面図(4) S=1/250



本設配管詳細図(4) S=NON

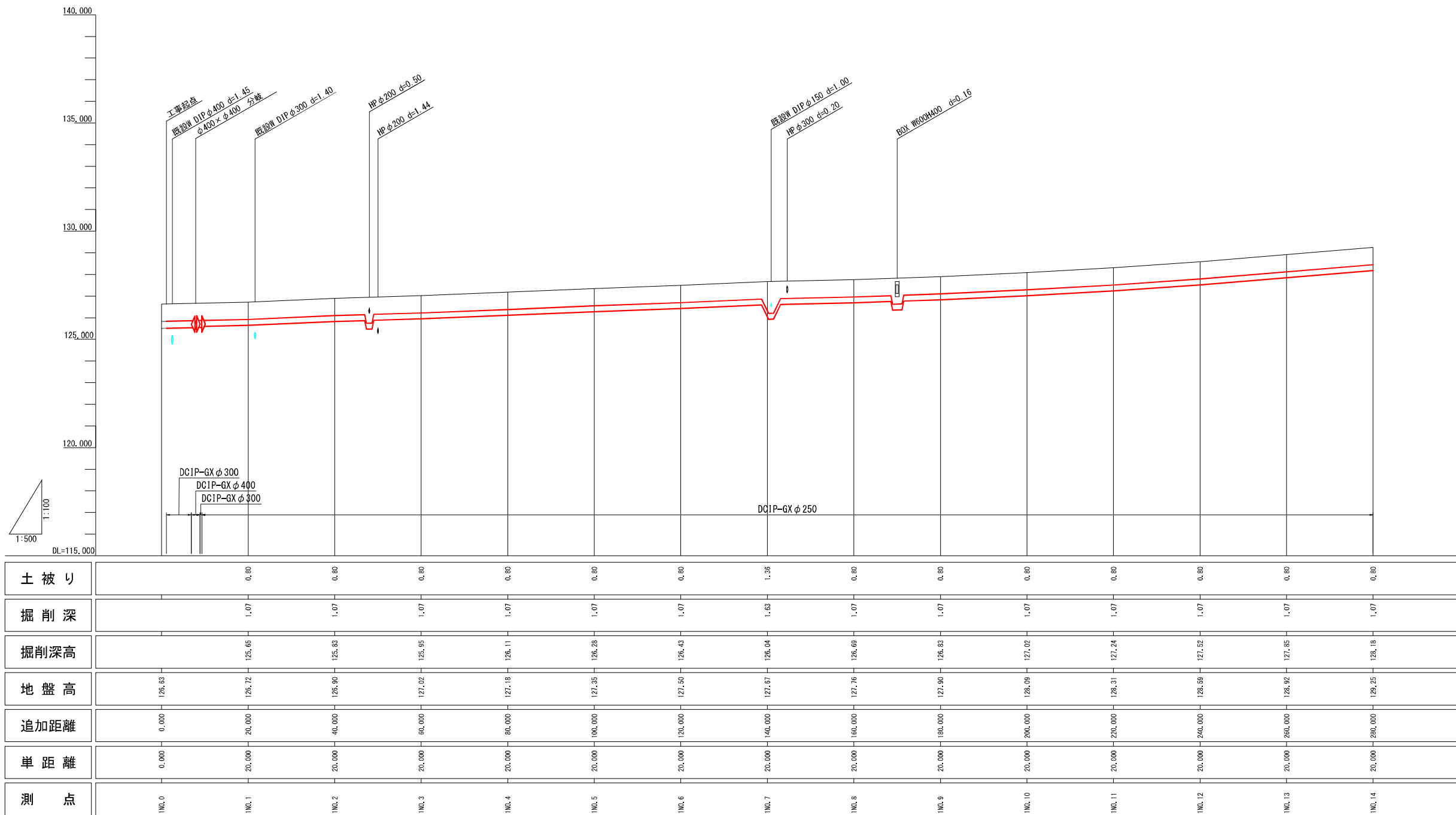
7 断面図 S=1/100



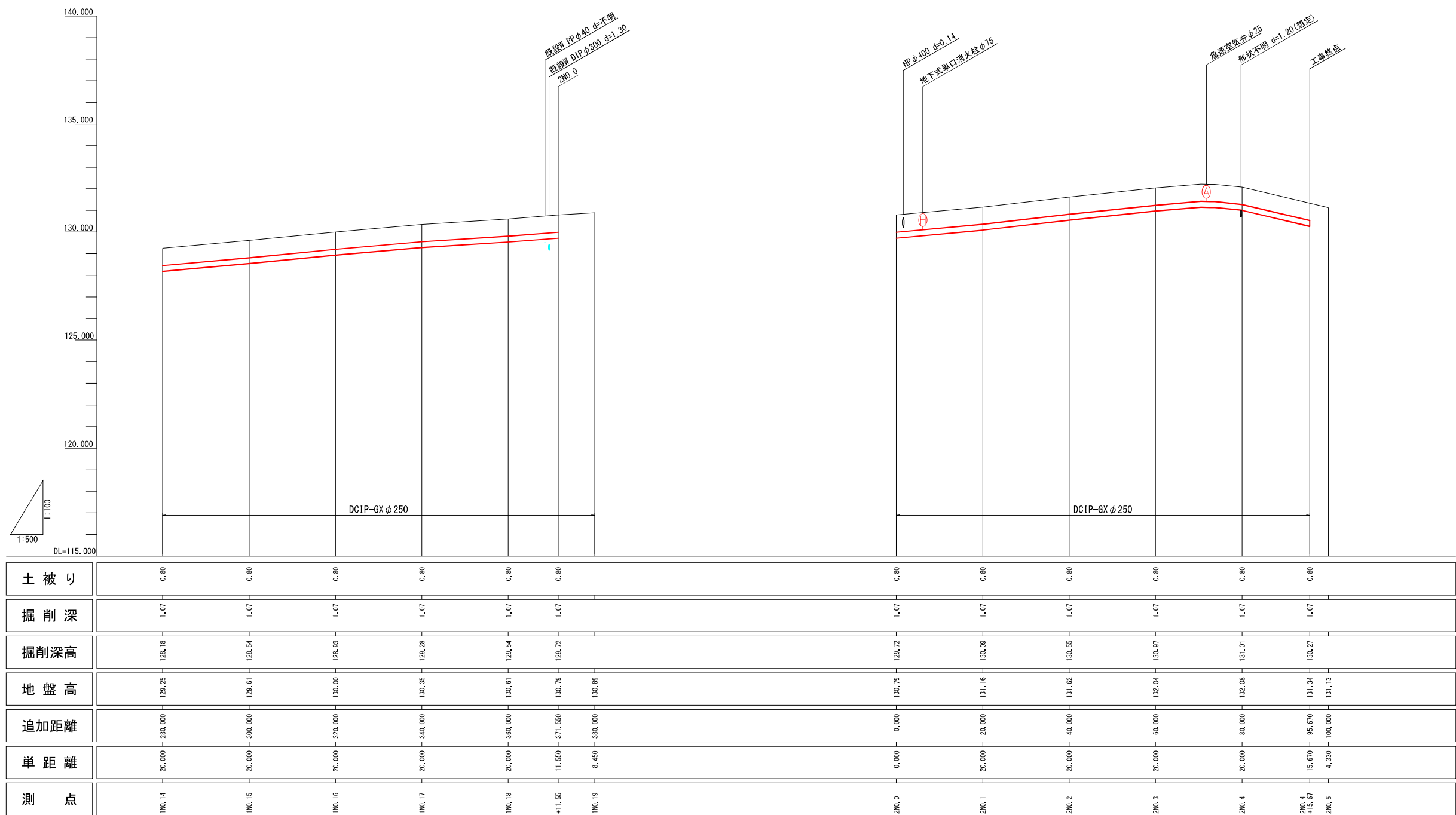
凡 例	
	GXライナ無
	GXライナ有
	G-Link
	挿し口突起あり

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
老朽配水管布設替工事(高区系統第6工区)		
加東市 山国地内ほか		
本設配管平面図(4)	5	業 全
本設配管詳細図(4)		
縮尺 1/250		12
加 東 市		

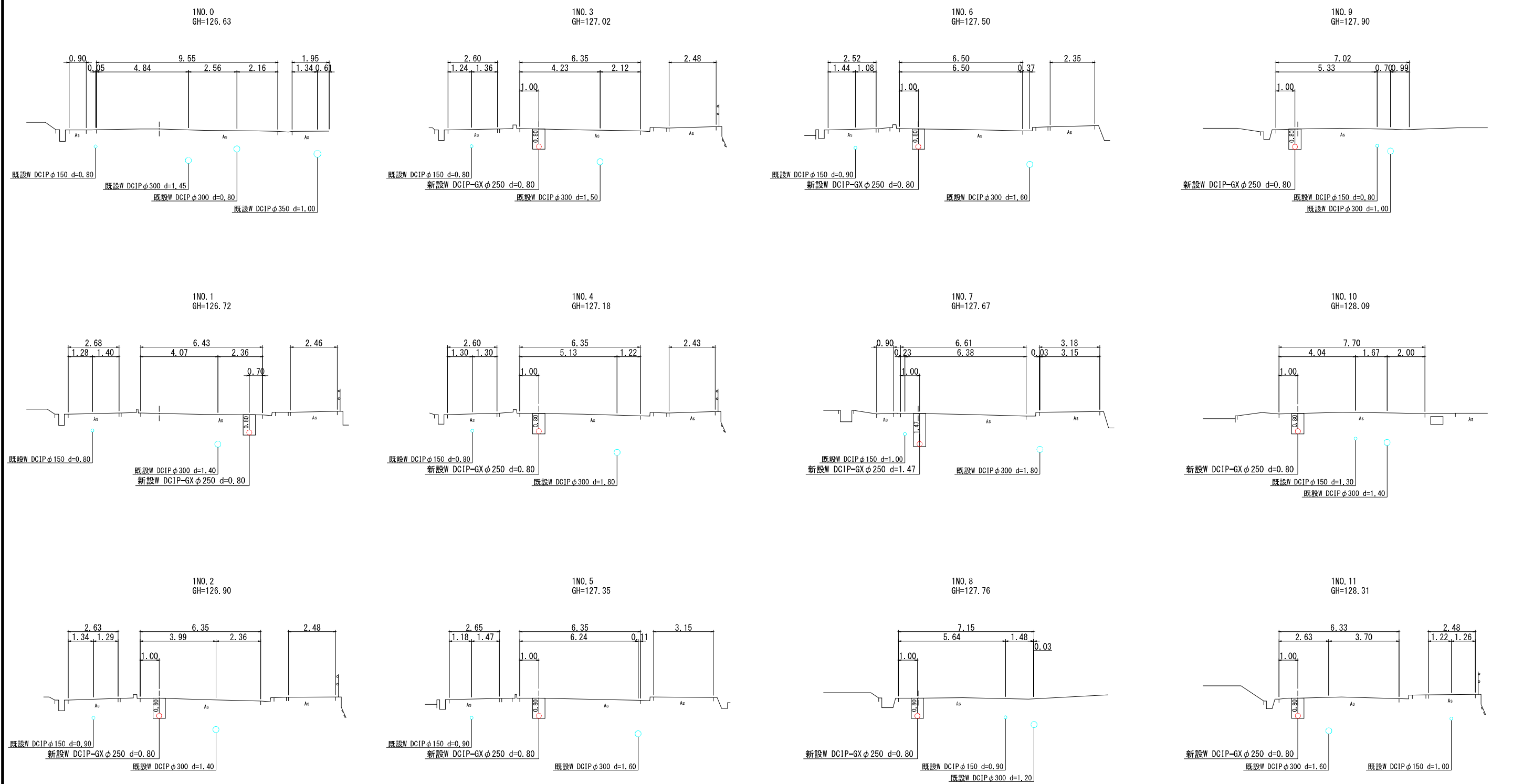
縦断面図(1) $H=1/500$
 $S=1/100$



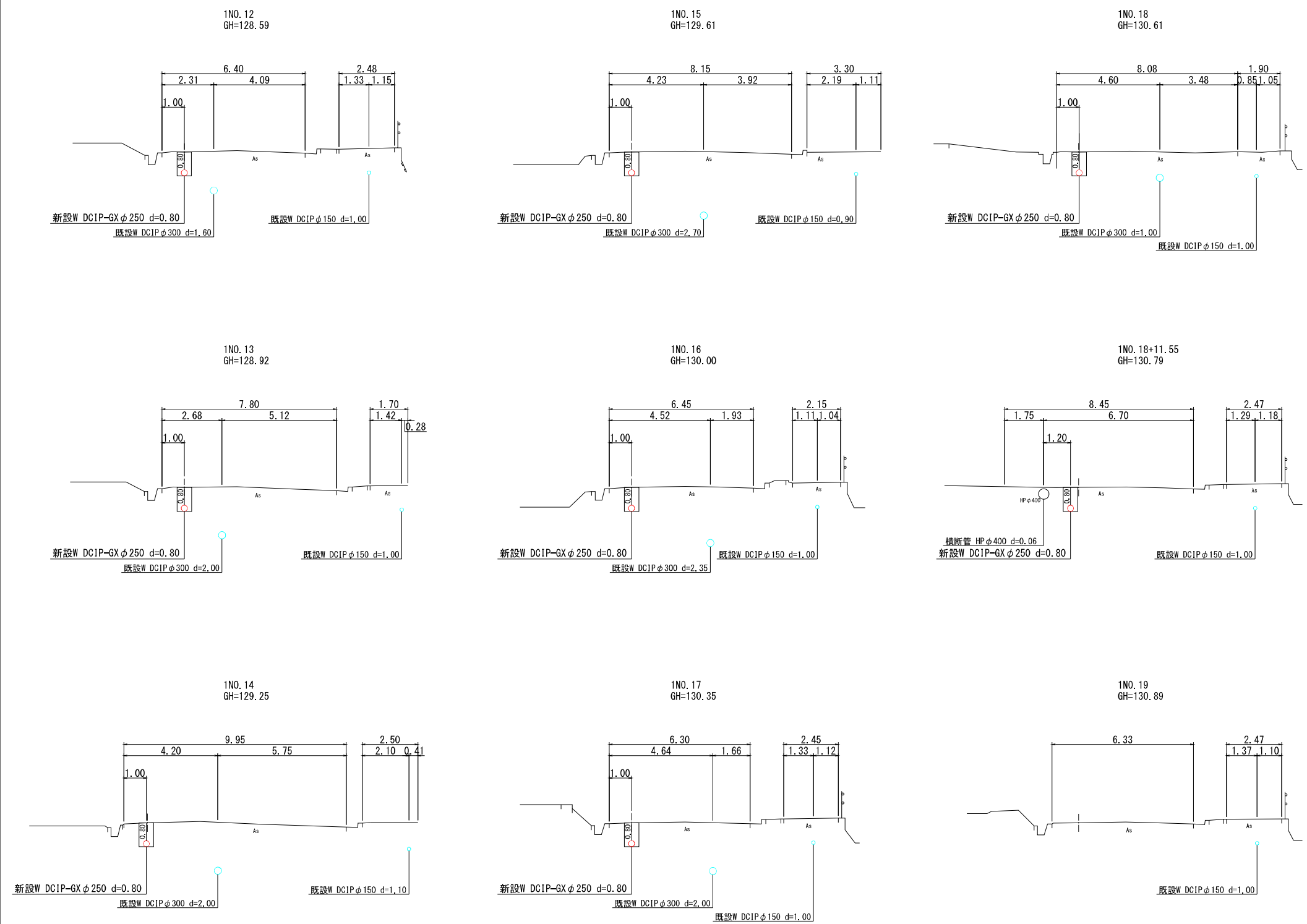
縦断図(2) $H=1/500$
 $S=1/100$



横断図(1) S=1／100

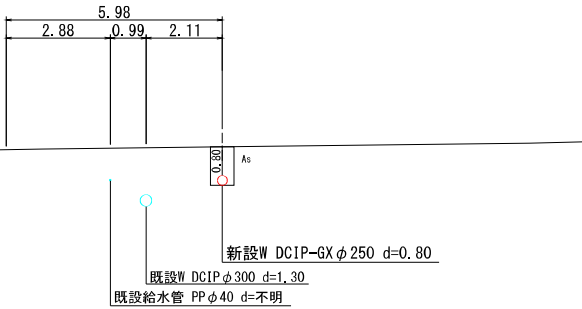


横断図(2) S=1／100

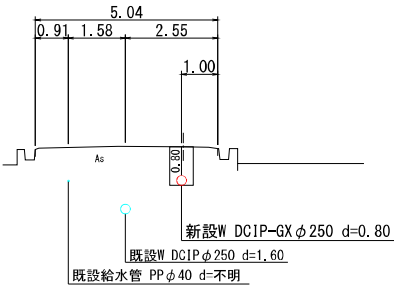


横断図(3) S=1／100

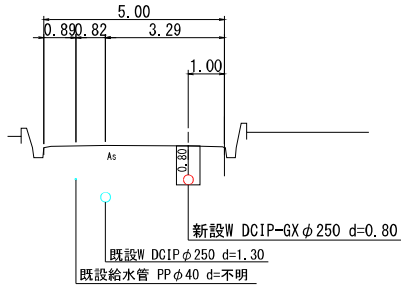
2N0.0
GH=130.79



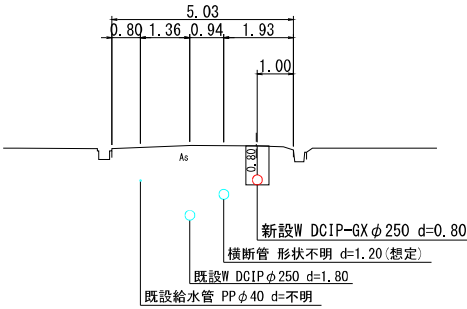
2N0.3
GH=132.04



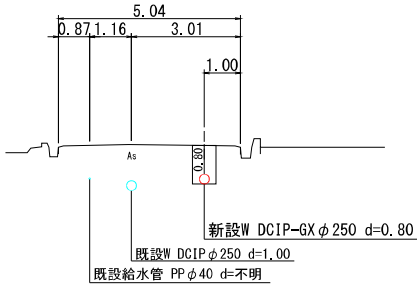
2N0.1
GH=131.16



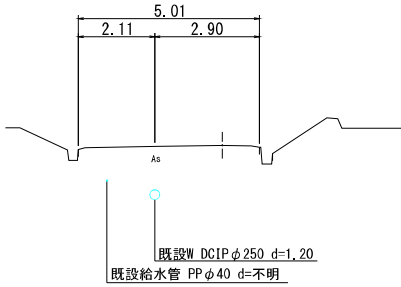
2N0.4
GH=132.08



2N0.2
GH=131.62



2N0.5
GH=131.13



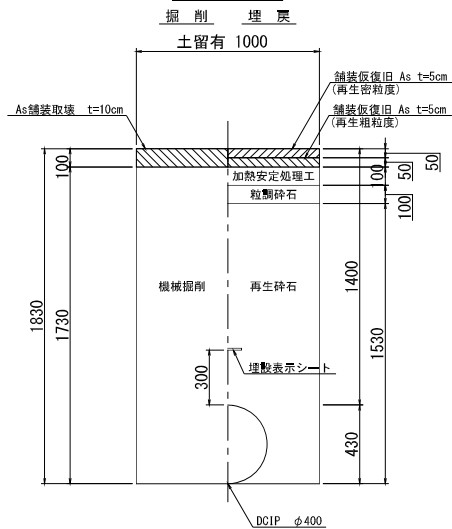
令和8年度 社会資本整備総合交付金事業		
老朽配水管布設替工事(高区系統第6工区)		
加東市 山国地内ほか		
横断図(3)	10	葉全
縮尺 1/100		12
加 東 市		

掘削断面図(1) S=1/20

本設土工

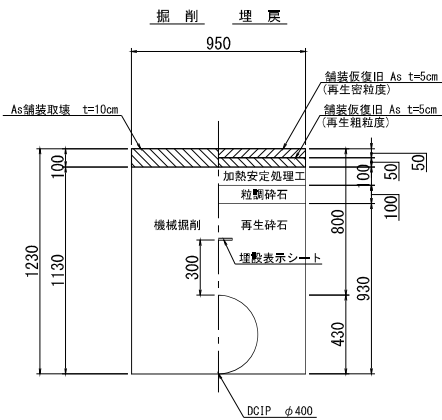
掘削断面1

As DCIPφ400 d=1.40
県道車道As
(矢板施工)



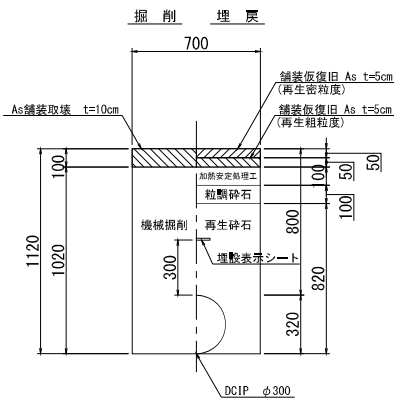
掘削断面2

As DCIPφ400 d=0.80
県道車道As



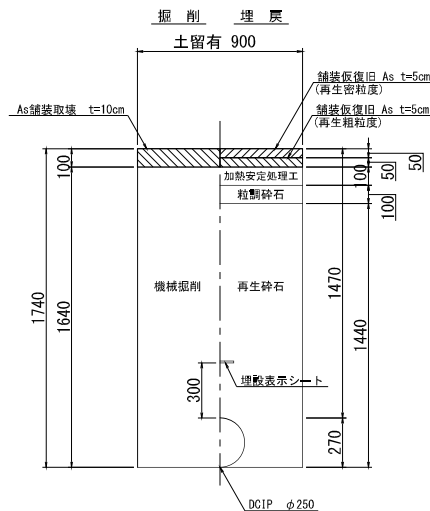
掘削断面3

As DCIPφ300 d=0.80
県道車道As



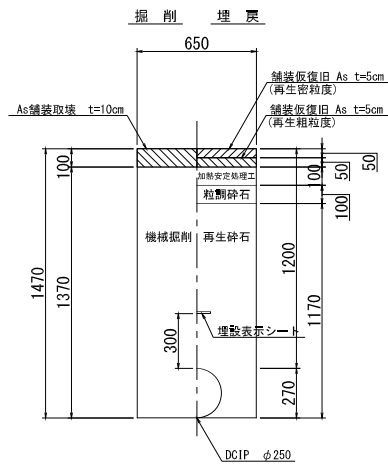
掘削断面4

As DCIPφ250 d=1.47
県道車道As
(矢板施工)



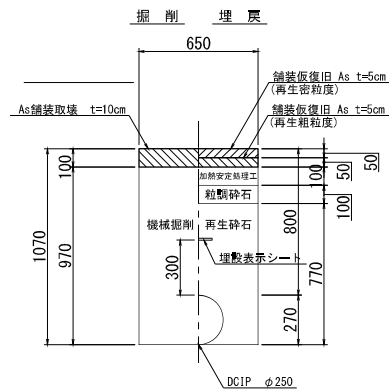
掘削断面5

As DCIPφ250 d=1.20
県道車道As



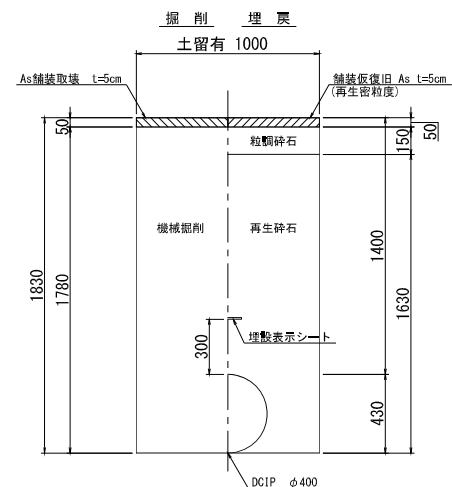
掘削断面6

As DCIPφ250 d=0.80
県道車道As



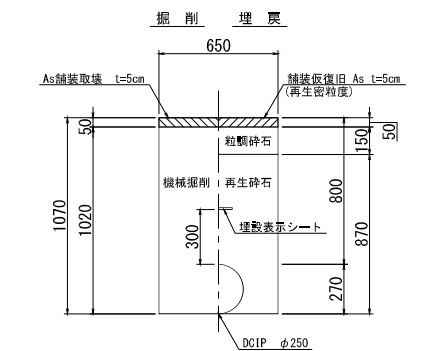
掘削断面7

As DCIPφ400 d=1.40
市道車道As
(矢板施工)



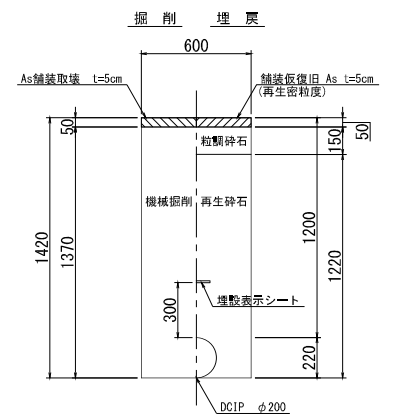
掘削断面8

As DCIPφ250 d=0.80
市道車道As



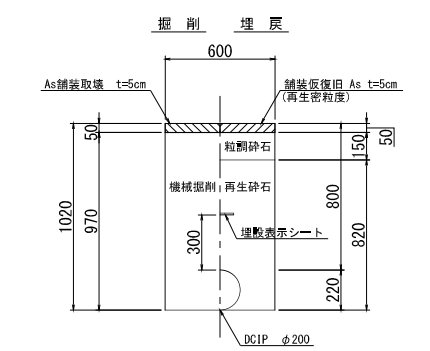
掘削断面9

As DCIPφ200 d=1.20
市道車道As



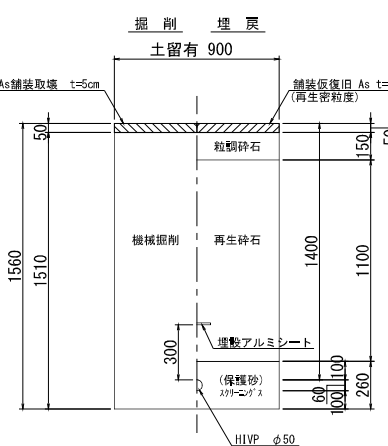
掘削断面10

As DCIPφ200 d=0.80
市道車道As



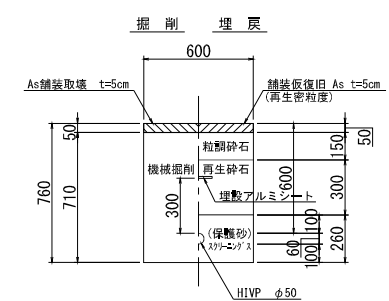
掘削断面11

As HIVPφ50 d=1.40
市道車道As
(矢板施工)



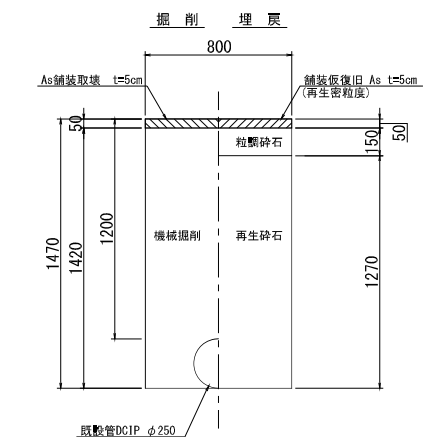
掘削断面12

As HIVPφ50 d=0.60
市道車道As



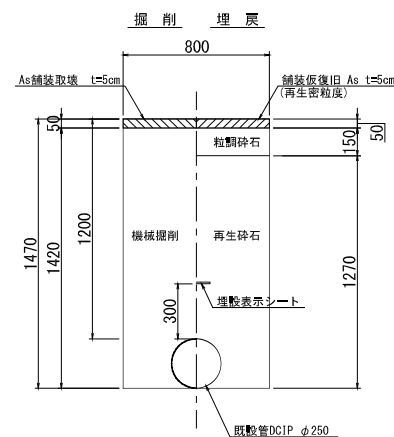
掘削断面13

As DCIPφ250 d=1.20
(既設管单独撤去)
市道車道As



掘削断面14

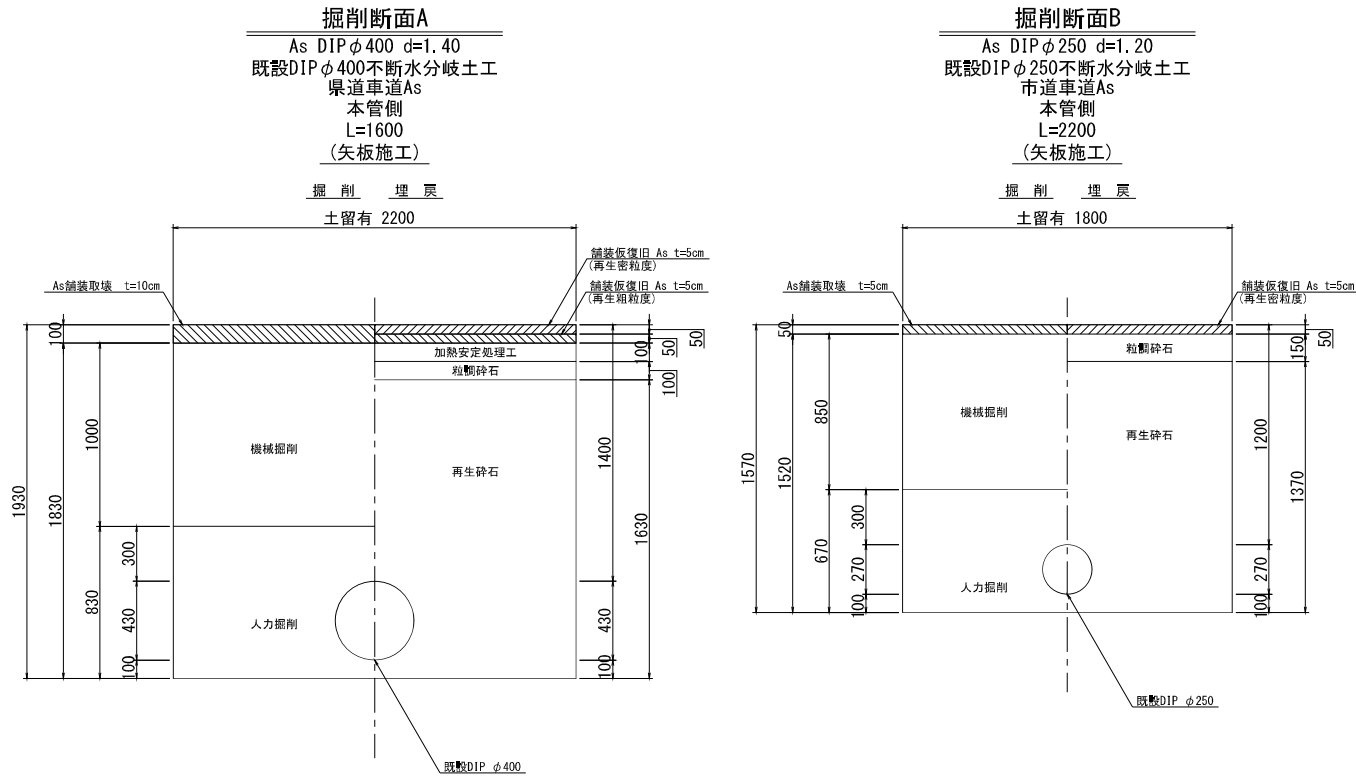
As DCIPφ250 d=1.20
(既設管メカ帽止め)
市道車道As



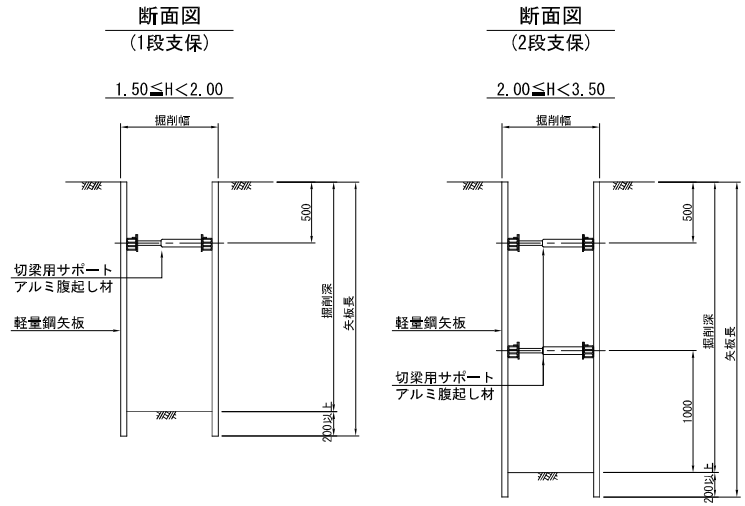
凡例
粒調砕石：M-30
再生砕石：RC-40

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業	
老朽配水管布替工事(高区系統第6工区)	
加東市 山国地内ほか	
掘削断面図(1)	11 業全
縮尺 1/20	12
加東市	

掘削断面図(2) S=1/20・Non



土留工標準図 S=NON SCALE



軽量鋼矢板工

掘削深 (m)	土留工 (矢板長) (m)	段数
～1.49	素掘	—
1.50～1.79	2.00	1
1.80～1.99	2.50	1
2.00～2.29	2.50	2
2.30～2.79	3.00	2
2.80～3.29	3.50	2

弁室標準図 S=1/20

